

もくじ 目次

1. <u>文字入力</u> は <u>鉛筆の持ち方</u> と同じ.....	1
2. タッチタイプを <u>身</u> につける <u>方法</u>	2
3. <u>正</u> しい <u>姿勢</u>	3
4. <u>指</u> の <u>構え方</u> 、 <u>手</u> の <u>置き方</u>	4
5. キーボードと <u>日本語</u> の <u>入力</u>	7
6. まとめ.....	15
8. ログインと <u>練習方法</u>	19
9. <u>練習</u> メニュー.....	23
10. <u>指</u> ならし <u>練習</u>	25
11. ローマ <u>字</u> と50 <u>音</u> の <u>練習</u>	35
12. <u>変換練習</u>	67
13. <u>文章基礎練習</u>	90
14. アルファベット <u>練習</u>	102
15. <u>日本語入力</u> の <u>基礎資料</u>	115

1. 文字入力 は鉛筆の持ち方と同じ

1. 文字入力は鉛筆の持ち方と同じ

世界中のコンピュータがつながり、あらゆるモノにコンピュータが組み込まれ、人工知能が人の脳に迫る時代に私たちは生きています。大きくなって社会に出るみなさんには、豊かな社会や豊かな暮らしを築くために、コンピュータを使いこなすことが期待されています。

コンピュータを使いこなす基礎は「文字入力」です。

小学校に入学すると「鉛筆の持ち方」を習います。コンピュータを習う時には、始めにタッチタイプを習います。効率の良い操作方法を身につけ、目や肩など身体への負担を少なくできるからです。本テキストでは、タッチタイプを身につける目標を次のように設定しています。

タッチタイプを身につける目標

- 1) 小学校3年から練習する。
- 2) 卒業までに10分間で350字程度入力できるようになる。

3年生から練習する理由は、ひらがなにも慣れて、漢字も使えるようになっていて、児童の表現力が活かせる文字入力の力を身につけさせるのが好ましいからです。

書く力にあわせて入力ができなければ、ICTを活かせないからです。

卒業時に350字程度の入力の力を目標にするのは、3年生でタッチタイプを身につけ、各科目の授業で文字入力を続ければ、自然に身につけることができると想定からです。

(注)

国は「教育の情報化に関する手引き」で小学校卒業までに「ローマ字入力による正しい指使いでの文字入力を身につけさせる」と定めています。

(下線部についてタッチタイプとしています)

また、上記の手引きの作成過程で検討された基準リスト(案)では、3年生でタッチタイプの練習を始め、卒業時、200字程度の入力ができることが求められています。

2. タッチタイプを身につける方法

1. 練習の方法

- 1) 手首を支えて操作します。
- 2) ローマ字入力に必要なキーの数22こで練習します。
- 3) 指を動かすパターンは5つです。
ホームポジション、人差指、中指、薬指、小指
- 4) 指の型は18こです。
- 5) ローマ字の表を10のステップで練習します。

この手法を「はかせ式タッチタイプ・メソッド」と名付けます。

正しい指使いによる文字入力の呼び方には、他にタッチタイピングなどもあります。文部科学省「教育の情報化に関する手引き」で「タッチタイプ」が使われているのでこの呼び方を使います。

2. 練習で心がけること

「ゆっくりやれば、速くなるキー入力練習」

速く、速くと急がず「ゆっくり確実に」正しい型を身につけるようにします。

型を守った練習を続けければ自然に速く確実に入力できるようになります。

タッチタイプを攻略し「できる」自信をつけてください。

キーボードを見ずに入力するのは、たいへん難しそうに感じます。

しかし、正しい方法で練習を続けければ、必ずできるようになります。

練習を始める時の気持ち

年 月 日

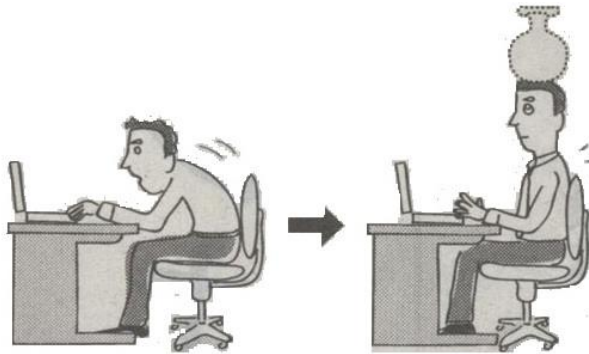
3. 正しい姿勢

タイピングの姿勢を説明します。

● 肩・首のこりは、悪い姿勢から

頭の上にツボを載せているイメージで

日本経済新聞 2009年1月11日

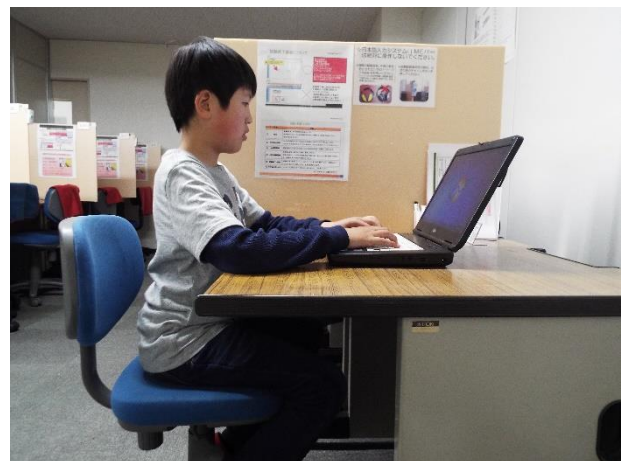


画面は、眼から40センチ以上離す

日本経済新聞 2009年11月7日



正しい姿勢が大切です！！



- 背筋は伸ばして操作します。
 - 足の裏は床にピタリとつけます。
- つかない時は、台などを置いて下さい。

4. 指の構え方、手の置き方

1) 指の構え方

図のように A S D F J K L ; に指を置きます。

この位置をホームポジションと言います。



ホームポジションの指は、キーにかかるくふれます。



2) 手の置き方

てくび れんしゅう ゆび あんてい らく そうさ
手首をささえて練習します。指が安定し楽に操作できます！

てくび う ふあんてい じょうたい れんしゅう すす
手首を浮かした不安定な状態では、練習がうまく進みません。

す のように、てくび ほん うえ お くだ
図のように、手首を本やアームレスト（パームレスト）の上に置いて下さい。



■手首は、アームレストや机や本などに置き支えてキーを操作します。

他に、アームレストは入力に疲れたときに「一休みする場所」。
操作する時は、手首を置かずに浮かしてキー操作をするという考えがあります。
このメソッドでは、この考え方をとりません。

ここでの練習は、手首を支えて操作します。

手首を浮かせて打つ練習は、タイピストやデータ入力を専門にする人の訓練方法で、
小学生に強いると、練習そのものが成り立ちません。

ホームポジションに指を置きキーを操作する正しい基礎を身につけて下さい。
将来、タイピストやデータ入力、プログラミングなどの職業に就く人は、ここで身につけた「正しい指使いによる文字入力」の基礎の上に、さらに技能を磨いて下さい。

「手首は、支えて練習する」と決めることが大切です。
メソッドの1番目の考えです。

ノートパソコンでは、キーボードの手前のアームレストに手を置いて下さい。



手指をささえるため木や本を置くのもおすすめです。

腕の一部を机で支える方法もあります。自分にあった方法を見つけて下さい。



5. キーボードと日本語の入力

1) キーボードと日本語入力

コンピュータには、多くの文字を刻んだキーボードがついています。
このキーボードで文字を入力したり、コンピュータへ指示をします。



キーボードを使うことができれば、コンピュータを使うことはできません。
このテキストでは、まず、日本語を入力する練習をします。

『6月の青い海に祝福されたウェディングは最高でした』

日本語の文章は、数字、ひらがな、カタカナ、漢字などを使って表現します。

このような日本語を入力できるローマ字の表を定めました。

小学校で習うローマ字の表と少し違います。違いは、次の5つです。

- (1) あいうえお の行に やゆよ を移し や行を取っています。
- (2) なにぬねの の行に ん を移しています。
- (3) V ゝ「ヴ」の行を加えています。
- (4) 小さな「あいうえお」の行を加えています。
- (5) のびる音「一」の行を加えています。

日本語の入力を練習するためのローマ字の表を次のページに示します。

2) ローマ字の表

この表を使ってタッチタイプの練習をします。

使うキーの数は、A、I、U、・・・V、L、- 22コです。



ローマ字の表

A I U O Y	母音					半子音+母音			撥音
	あ	い	う	え	お	や	ゆ	よ	
	1:A	2:I	3:U	4:E	5:O	6:Y			N
						YA	YU	YO	
7:K	か	き	く	け	こ	きゃ	きゅ	きょ	清音
8:S	さ	し	す	せ	そ	しゃ	しゅ	しょ	
9:T	た	ち	つ	て	と	ちゃ	ちゅ	ちよ	
10:N	な	に	ぬ	ね	の	にゃ	にゅ	にょ	
11:H	は	ひ	ふ	へ	ほ	ひゃ	ひゅ	ひょ	清音
12:M	ま	み	む	め	も	みゃ	みゅ	みょ	
13:R	ら	り	る	れ	ろ	りゃ	りゅ	りょ	
14:W	わ				を				
15:G	が	ぎ	ぐ	げ	ご	ぎゃ	ぎゅ	ぎょ	濁音
16:Z	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ	じゃ	じゅ	じょ	
17:D	だ	ぢ	づ	で	ど	ぢゃ	ぢゅ	ぢょ	
18:B	ば	び	ぶ	べ	ぼ	びゃ	びゅ	びょ	
19:P	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ	ぴゃ	ぴゅ	ぴょ	半濁音
20:V	ヴあ	ヴい	ヴ	ヴえ	ヴお				外来語の音などに
21:L	あ	い	う	え	お	ゃ	ゅ	ょ	
22:-									長音

©2012 NIPPON BCOM

3) ローマ字入力^{じにゅうりよく}で使うキーは 22コ



22コのキーの位置^{いちつき}は次のようになります。

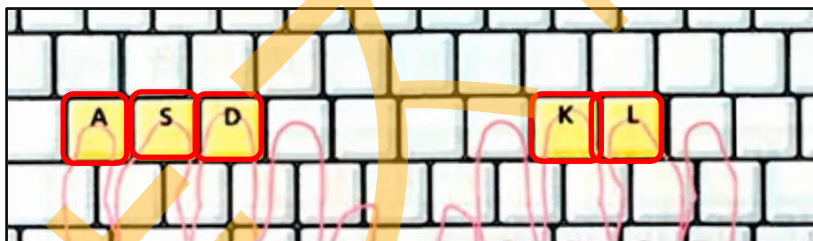


指^{ゆび}は、基本^{きほん}の位置^{いち}に構^{かま}えます。ホームポジション^いと言^いいます。
ホームポジションのキーは、指^{ゆび}を下^{した}に押^おすだけで入^{にゅうりよく}力^{りよく}できます。

ホームポジション そのまま下へ 押^おすキー 5つ

ホームポジションで 5つ

A S D K Lは、そのまま下へ



5つ

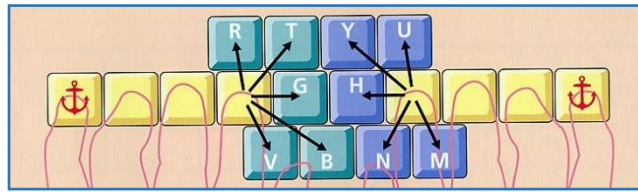
残り^{のこ}りは、 $22 - 5$ で 17コです。

17のキーは、ホームポジションから動^{うご}かして押^おす必要^{ひつよう}があります。



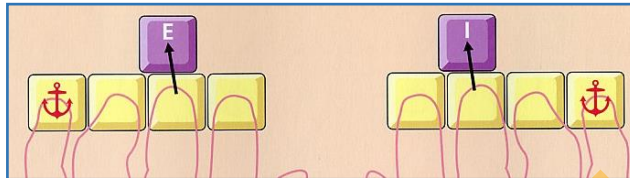
ホームポジションのとなりにあるキー となりへ動かして押すキー 16コ

ひとき 指
人差し指
みぎて
右手で5つ
ひだりて
左手で5つ



5つ 5つ

なかゆび
中指は、1つずつ



2つ

くすりゆび
薬指も、1つずつ



2つ

こゆび
小指も、1つずつ



2つ

すこ
少しはなれたキー 1つ

Pのキーを超えて少し離れたキーを小指で押します。
のびる音「ー」です。この1つを加えて

のびる音「ー」

1つ



ローマ字入力で
使うキーは
22コです

4) 指の型

キーの位置、押す指、残す指が決まれば、キー毎に指の型がきまります。

(1) 指の動かし方 Y を押す時

人差し指は、Yの位置に、中指、薬指、小指は、ホームポジションに残します。

するとYを押した時の手の形は、下のようになります。



① キーの位置、②押す指、③残す指が決まれば、指の形(型)が決まる。

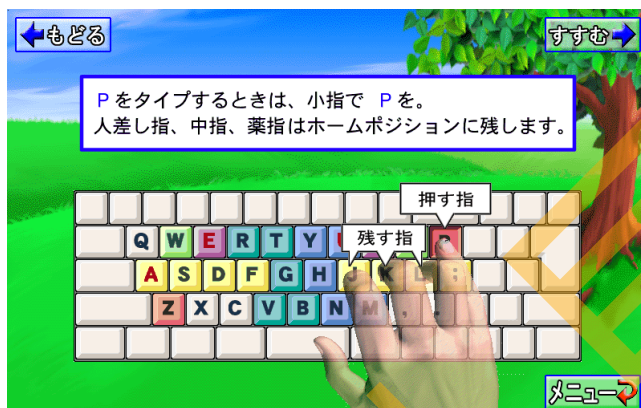
①②③が決まれば、指の形が決まる



(2) 指の動かし方 P を押す時

小指でPを押し、人差し指、中指、薬指を残します。

すると指の形は、下の写真のようになります。



- ① キーの位置、② 押す指、③ 残す指が決まれば指の形（型）が決まる。

①②③が決まれば、指の形が決まる



人差し指を残し、小指をPへ。中指、薬指は、人差し指と小指をつなぐ線の上になります。

5) 17の指の形 (型)

ホームポジションの「となりのキー 16」+「はなれたキー 1」

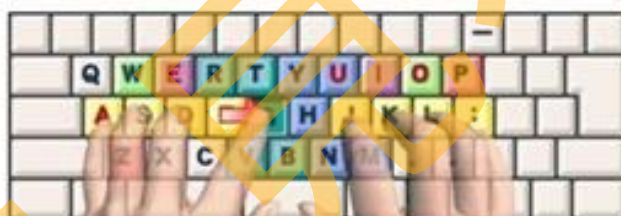
■ホームポジションの隣の16のキーを押す指の型

左手 人差し指



人差し指は動きやすい指なので
左手で5つを分担します。

R, T, G, B, V



右手 人差し指



人差し指は動きやすい指なので
右手で5つを分担します。

U, Y, H, N, M



左手 中指、薬指、小指



右手 中指、薬指、小指



■ホームポジションから少し離れたキー「^{すこ}「^{はな}」を押す指の型 1つ



17の型への指の動かし方に慣れれば、タッチタイプを身につけることができます。

6. まとめ

タッチタイプ練習のためのまとめです。

正しい姿勢と手のかまえ方、指の動かし方のチェックリストです。

練習のときに気をつけましょう。

<p>正しい姿勢で座ることができる</p>	<p>足の裏は、床にピッタリと 背中を伸ばして座る</p>
<p>指を正しく構えることができる</p>	<p>手首をささえ、ホームポジションへ</p>
<p>指を正しく動かすことができる</p>	<p>22コのキーへ正しく指を動かすことができる。</p>
<p>手元を見ずに動かすことができる。</p>	<p>練習盤（注）の矢印を見て動かすことができる。</p>

本メソッドをキーボードの図に示すキー練習盤

次ページにメソッドをキーボード上に表現したキーボード図を示します。

ホームポジションからの指を動かす方向と距離を矢印で示しています。

この図を見ながらキーボードで指を動かします。

タッチタイプの基礎が身につきます。

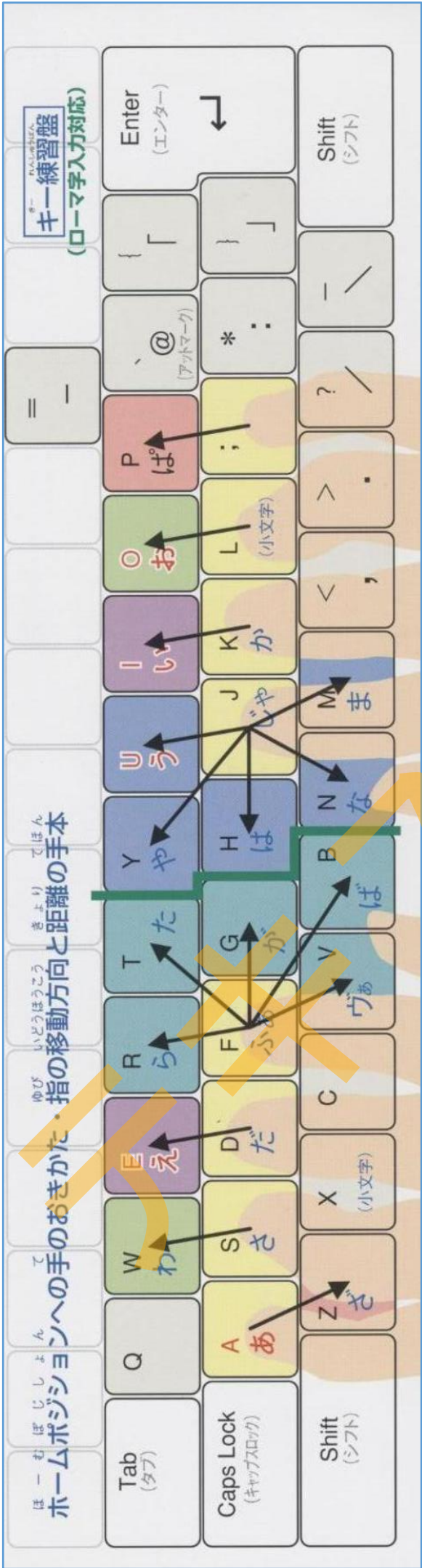
（注）

標準のキーの幅19mmで窪みを付けた「キー練習盤」と

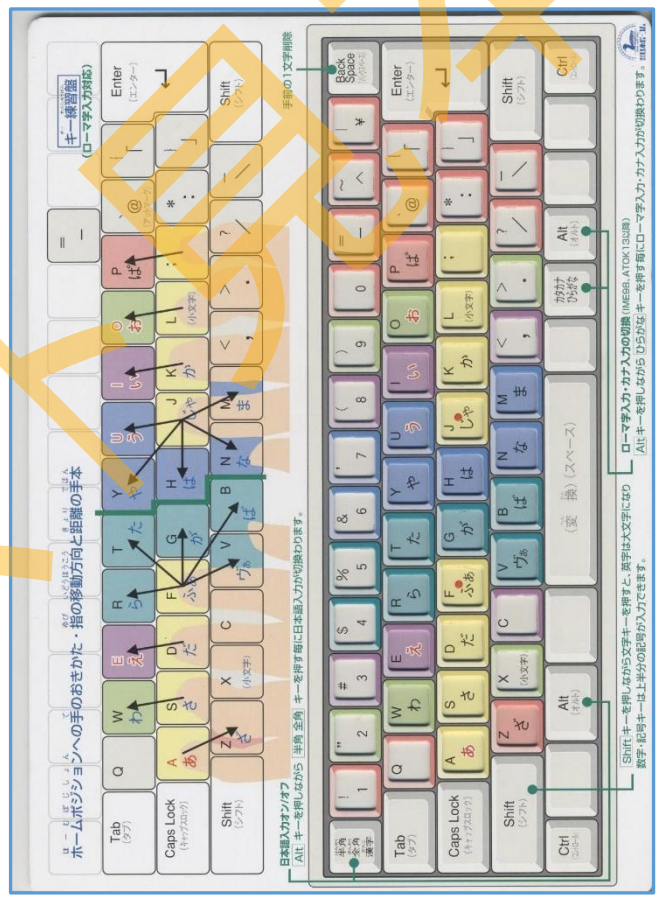
「練習帳1」（指の分担、動かし方をガイド）

「練習帳2」（五十音を順に指の動かし方を示し練習できる練習帳）

をセットにした商品を販売しています。



キー練習盤



7. タッチタイプ練習を始める

18の指の型を理解すれば、タッチタイプの練習は易しくなります。
練習方法は、大きく分けると3つあります。

■メモ帳で練習する方法

- 1) キーボードで18の指の型を動かす練習をします。
ホームポジション5つ、人差指10、中指2、薬指2、小指2+1
- 2) あ・やの行の練習をします。
まず キーボードでA I U E O Y A Y U Y Oと練習します。
- 3) メモ帳を起動し日本語入力をオンにして「あいうえおやゆよ」と練習します。
- 4) 2)と3)と同じ方法で
か行、さ行、た行、な行、は行、ま行、ら行、わ行、が行、ざ行、だ行、ヴ行、
小さな「あいうえお」行、つまる音、つまってねじれる音、のびる音「ー」と
練習します。
メモ帳を使う練習問題は、11章ローマ字と50音の練習の問題を使います。

■キー練習盤セットを使う方法

紙でできたキー練習盤と練習帳のセットを使う方法

上記の1)、2)、3)、4)をコンピュータを使わずに練習することができます。

■練習システムを使う方法

本メソッドに基づいた練習システムを提供しています。

GoldFingerschool では

指の型と50音の基礎練習ができます。

GoldFingerSchoolPro では

指の型と50音の基礎練習 さらに 文章の練習入力が練習できます。

eー脳トレ(クラウド版)、ICT講座(クラウド版)では、完成した本メソッドの
の練習ができます。

本テキストでは、「eー脳トレ」、「ICT講座」で練習する方法を述べています。

練習にあたって（効果の上がる練習方法、時間配分など）

練習は、「あ行」から「のびる音「一」まで、50音を2回（2巡）練習します。

1回目の練習は、完全でなく少し不十分でも、次へ進み50音の全てを練習します。

書物は、はじめに分からない所があっても読み終わり、はじめから、読み直すと理解できる所が増えてきます。タッチタイプの練習も同じです。

1回目の練習で不十分だった所も、2回目の復習で、身につく所が増えていきます。

1回目（1巡目）の練習（できないところがあっても、次へすすむ）

■基本が身につくまで（は行、ま行、ら行、わ行を終えるころ）

指ならしの基礎練習、あ・や行、かさなた行、はまらわ行の基礎練習・実践練習①②③④の練習を終えるころまで。

- ・良い姿勢で練習しているか。 ・正しい指を使っているか。
 - ・ゆっくり、確実に、丁寧に練習しているか、注意深く見てあげます。
- ここでつけた習慣を治すのは非常に難しくなります。

練習時間は、30分程度とします。

それ以上の練習は、集中力が途切れて効率が悪くなります。

50音の最後の のびる音「一」の練習まで進んだら もう一度、最初の「あ・や」行に戻って復習します。

■基礎の練習が進んだら（は行、ま行、ら行、わ行 が終わるころ）

はじめ練習になれないが、はまらわ行を終える頃には練習方法もわかってくるので、次のように見てあげます。少し離れても指導できます。

- ・良い姿勢で練習しているか（姿勢を見れば、練習内容も把握できます）
- ・正しい指を使っているか 離れていても指導していきます。

練習時間は、50音の練習が終わるまで30分程度はかけるようにします。

練習時間は、30分程度になるように配慮します。

それ以上の練習は、集中力が途切れて効率が悪くなります。

2回目（2巡目）の練習（復習）

メモ帳や練習システムで実践練習を行います。

50音の入力が、思いのほか身についていることを体験できると思います。

多くの方は、2回（2巡）の練習で、50音を手元を見ずに正しい指使いで入力できるようになります。

8. ログインと練習方法

8. ログインと練習方法

テキストに準拠した練習システムでの練習の進め方です。

1) 練習画面の立ち上げ（教室ログイン）（教室のスタッフが操作します）

2) 受講者の立ち上げ（ユーザーログイン）

教室ホームページから「ログイン」ボタンを押し受講者（生徒）ログインをします。

ログインには2つの方法があります、教室で決められた方法でログインします。

方法1：誕生日ログイン方法

「ログイン」ボタンを押すと次の画面が表示されるので、自分の誕生日を選択し「ユーザーログイン」ボタンを押してください。

生まれた月と日を選択してください。

1	2	3	4	5	6	月			
7	8	9	10	11	12				

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
31									

ユーザーログイン

すると練習メニュー画面が表示されます

e-脳トレ 語所駅前ITサロン キッズ 研修1 ログアウト

TOP > 教室HOME > マウストレーニング

順位	ニックネーム	教室名	得点
1	まきこさん	にわかパソコン教室	121
1	まきよさん	にわかパソコン教室	121
2	あら	わのりパソコン教室	120
3	エミちゃん	まのりパソコン教室	117
4	アキラ	まのりパソコン教室	115
5	シゲル	ヒナキ情報塾	109
6	ふーさん	ネオスクウェア	108
6	みずりん	わのりパソコン教室	108
7	ヤスコ	まのりパソコン教室	105
8	みえこ	わのりパソコン教室	101

マウストレーニング

- (A) チーズにフォーク 成績
- (Z) 猫に鈴 成績
- (E) 積み木 成績

練習メニュー画面

おな たんじょうび ひと ばあい じぶん せんたく
同じ誕生日の人がいる場合は、自分のニックネームを選択してください。

あなたのニックネームを選んでください。

ニックネーム

- 研修1
- 研修2

ログイン

ほうほう
方法2：パスワードログイン方法

「ログイン」ボタンを押すと次の画面が表示されるので、自分のIDとパスワードを
にゅうりよく
入力し「ユーザーログイン」ボタンを押してください。

TOP > 教室HOME > パスワードログイン

誕生日ログインに切り替え

ID

パスワード

ユーザーログイン

すると練習メニュー画面が表示されます。

e-脳トレ 語所駅前ITサロン キッズ 研修1 ログアウト

マウス 脳トレ タイピング基礎 文章練習 検定 ユーザ設定

TOP > 教室HOME > マウストレーニング © 2014 Nippon Bocom Co., Ltd. Version 2.0.1

順位	ニックネーム	教室名	得点
1	まちこさん	松戸のりこ先生	121
1	まきよさん	松戸のりこ先生	121
2	あら	松戸のりこ先生	120
3	エミちゃん	松戸のりこ先生	117
4	アキラ	松戸のりこ先生	115
5	シゲル	松戸のりこ先生	109
6	みーさん	松戸のりこ先生	108
6	みずりん	松戸のりこ先生	108
7	ヤスコ	松戸のりこ先生	105
8	みえこ	松戸のりこ先生	101

マウストレーニング

- (A)チーズにフォーク** 成績
- (Z)猫に鈴** 成績
- (E)積み木** 成績

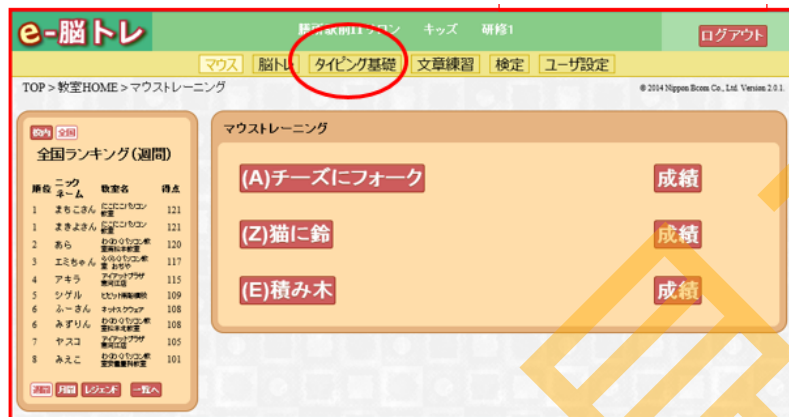
印刷 月間 レジスト 一覧へ

れんしゅう
練習メニュー画面

本テキストは、クラウド版「e-脳トレ」とクラウド版「ICT講座」に対応しています。

「e-脳トレ」での練習は、「タイピング基礎」のメニューで練習します。

「ICT講座」での練習は、「タッチタイプ入門」のメニューで練習します。

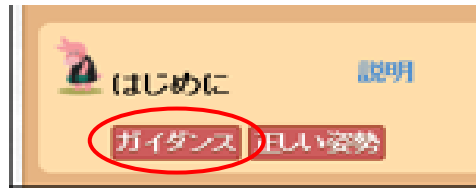


お願い

メニューの表現、練習問題、成績の表示方法など練習システムとテキストの表現が異なる所があります。教え方、練習問題、練習システムの改良を続けていますので、テキストの間のズレが生じます。ご理解ください。

「練習を始める前に」で説明した内容を「ガイダンス」「正しい姿勢」にまとめています。予習や復習に使ってください。

これは、①から順に表示され、解説を音声ガイドで聞くことができます。



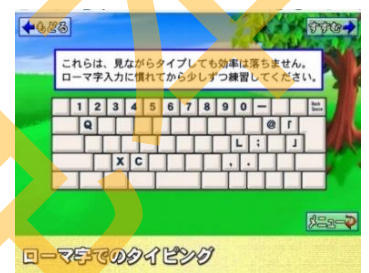
①



②



③



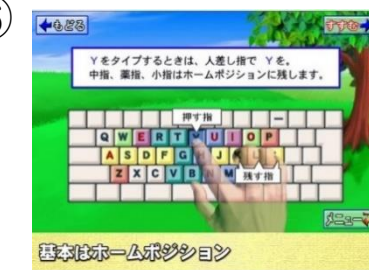
④



⑤



⑥



⑦



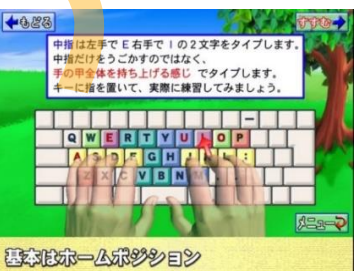
⑧



⑨



⑩



⑪



⑫



9. 練習メニュー

『6月の青い海に祝福されたウェディングは最高でした』

この文を入力するには

ろくがつの	(変換)	6月の
あおいうみに	(変換)	青い海に
しゆくふくされた	(変換)	祝福された
うえでいんぐは	(変換)	ウェディングは
さいこうでした	(変換)	最高でした

- ① アルファベットを組合せてローマ字でひらがなで文の区切りまで入力し
- ② 次に入力した「ひらがな」を漢字・カナまじりの文にします。

まず、アルファベットを組合せてひらがなにするローマ字入力を練習します。

練習メニューで「タイピング基礎」ボタンを押すと「タイピング練習画面」が表示されます。

(注：ICT 講座では、「タッチタイプ入門」と表示)



ローマ字入力の練習で使うメニュー

指ならしの練習

ローマ字入力に使う22のキーを押す指の動かし方を練習します。
日本語の入力に必要な22全てのキーを押す指の動かし方が練習できます。



ローマ字入力の練習

練習した指の動かし方を使って50音を入力する練習をします。

きそ れんしゅう
基礎練習

練習の仕方

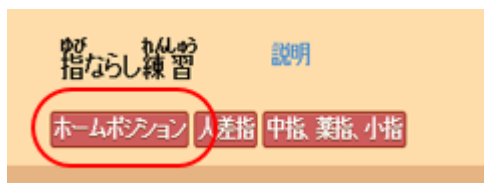
きそ 基礎		じっせん 実践				せいせき 成績				
あ・や行	⇒	①	⇒	②	⇒	③	⇒	④	成績	説明
かさたな	⇒	①	⇒	②	⇒	③	⇒	④	成績	
はまらわ	⇒	①	⇒	②	⇒	③	⇒	④	成績	
がざだば	⇒	①	⇒	②	⇒	③	⇒	④	成績	
ばびぶべぼ	⇒	①							成績	
う行	⇒	①							成績	
「あ」行	⇒	①							成績	
つまる音	⇒	①	⇒	②					成績	説明
ねじれる音	⇒	①	⇒	②					成績	説明
のびる音	⇒	①							成績	説明

10. 指ならし練習

1) ホームポジションの練習

先生にかわり押す「キー」と「指」と「指の動かし方」の手本を示します。

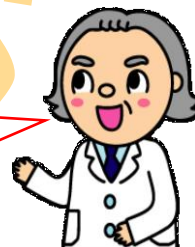
ゆっくり丁寧に、手本の指の形をよく見て操作してください。



指の動きをよく見て下さい。



手本を見て、指の動きをイメージして下さい。



スペースを押しても始まらない時は、全角入力になっていないか確かめてください。

指の動きを確認できたら「スペース」キーを押します。



「スペース」は左手親指で押します

両手をホームポジションに構えて、練習の準備ができたなら「スペース」キーを押します。

スペースを押しても始まらない時は、全角入力になっていないか確かめてください。

指の先の凹んだキーを押して下さい。

「速く」でなく、ゆっくり確実に押して下さい。



ホームポジションに指をおいたまま、キーを押して下さい。

F のキーが凹んでいます。
凹んだキーを押してください。

練習が終わると結果が表示されます。

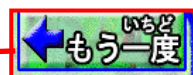
＜練習結果の表示＞

まちがいがなかったら「パーフェクト」の画面がでます。



次に進む時は、メニューを押します。

まちがいがあったとき 正しさ〇〇点 と得点がでます。



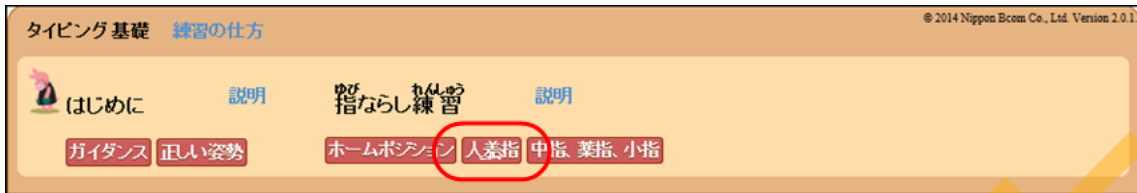
練習の注意

凹んだキーをゆっくり確実に押して下さい。「ゆっくり確実に」を心がけます。

速く押す必要はありません。2度練習したら、人差指の練習に移ります。

2) 「人差指」の練習

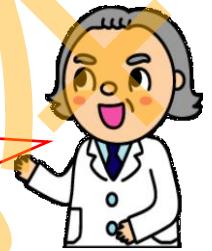
タイピング基礎の「指ならし練習」の「人差指」をクリックします。



指の動きをよく見て下さい。



てほんを見て、指の動きをイメージして下さい。



指の動きを確認できたら「スペースキー」を押します。

両手をホームポジションに構えて、練習の準備ができたなら「スペース」キーを押します。

いそがずに、ゆっくり、かくじつに



指の形をまねしてください。

あーるのキーが凹んでいます。
凹んだキーを押してください。

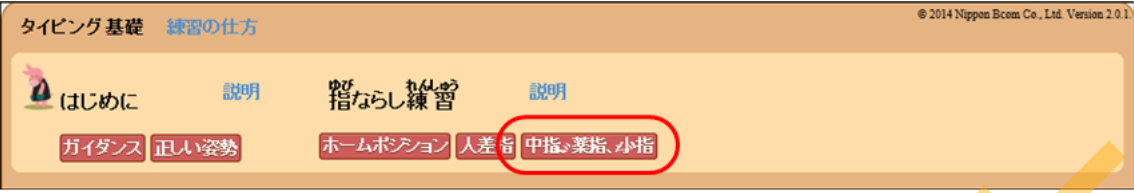
れんしゅう ちゅうい
練習の注意

- 1) てほん ゆび かたち
手本の指の形をまねるようにゆっくり指を動かします。
- 2) ホームポジションから指を動かす練習です。
れんしゅう はやく でなく かくじつ
練習は「速く」でなく「確実に」です。
- 3) FRFTFGFBFVF と必ずホームポジションのFを押すようになっています。ホームポジションに戻す練習もします。
- 4) 22のキーの内の10このキーを練習します。
ひとさ ゆび はんぶんちか
人差し指で半分近くのキーを練習できます。
RはFより少し左ななめ上、TはFより右ななめ上です。
- 5) Rを中指で押すなど、人差し指以外を使って操作していませんか。
ちゅうい
注意してください。
- 6) 2回練習したら「中指、薬指、小指」の練習に進みます。何度も同じ練習を
つづ じゅうちゅうりよく と き
続けると集中力が途切れます。
かい つぎ れんしゅう すす
2回で次の練習に進んでください。

ゆび うご
指の動かし方は、れんしゅう きほん
練習の基本です。まちが ゆび つか
間違っただ指を使っていますか？
ホームポジションに戻していますか。

3) 「中指、薬指、小指」の練習

タイピング基礎の「指ならし練習」の「中指、薬指、小指」をクリックします。



指の動きをよく見て下さい。



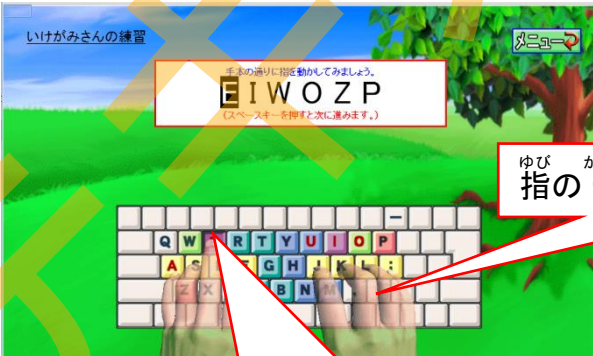
手本を見て、指の動きをイメージしてください。



指の動きを確認できたら「スペースキー」を押します。

両手をホームポジションに置き準備ができたなら「スペース」キーを押します。

いそがずに、ゆっくり、かくじつに



指の形をまねしてください。

のキーが凹んでいます。
凹んだキーを押してください。

れんしゅう ちゅうい 練習の注意

- 1) 指の手本の指の形をまねるようにゆっくり指を動かします。
- 2) ホームポジションから指を動かす練習です。練習は確実に。
EDIKIKED と必ずDかKなどホームポジションのキーを押すように練習します。ホームポジションに戻す習慣をつけます。
- 3) 少し長いですが、22のキーの内の6このキーを練習します。
この練習が終われば、のびる音「ー」だけです。
- 4) 2回練習したら、パーフェクトでなくても次の練習に進みます。

指の動かし方は、これからの練習の基本です。間違っただ指を使っていないか、ホームポジションに戻しているか、など注意深く練習しましょう。

指の動かし方の練習ができれば、五十音の練習に進みます。
五十音の練習に進む前に、次の点が大切なことを伝えてください。

指の動かし方がうまく飲み込めていない時は、次のチェックリストの内容の確認と合わせて、理解を補ってあげてください。

指ならしの練習を自然にこなすことができた時は、そのまま五十音の練習へ進んでください。

ただ
正しくできていますか？

<p>ただ <small>しせい すわ</small> 正しい姿勢で座ることができる</p>	<p>あし <small>うら ゆか</small> 足の裏は、床にピッタリと</p> <p>せなか <small>の すわ</small> 背中を伸ばして座る</p>	
<p>ゆび <small>ただ かま</small> 指を正しく構えることができる</p>	<p>てくび 手首をささえ、ホームポジ ションへ</p>	
<p>ただ <small>ゆび うご</small> 正しく指を動かすことができる</p> <p>(キー <small>れんしゅうばん つか</small> 練習盤を使って)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 22のキーの押し方 ・ 押したら指をもどす。 	<p>ホームポジション</p> <p>ひとさ <small>ゆび</small> 人差し指</p> <p>なかゆび 中指</p> <p>くすりゆび 薬指</p> <p>こゆび 小指</p>	
<p>キーボードや手元を見ずに</p>	<p><small>がめん み そうさ</small> 画面を見て操作する</p>	
<p>ゆび <small>うご</small> 指を動かすことができる。</p>	<p>キーボード、手元を見ない</p>	

ローマ字入力の練習の準備

ローマ字の表に2つの工夫を加えました。1つは、つまる音、つまってねじれる音の行を加えたこと。1つは、やる気を引き出す工夫をしたことです。

やる気を引き出すために、ゲームの面白さではなく、達成感でつづけて練習したくなる工夫をしています。「できなかったこと」ができ、「次も」と挑戦する。

反面簡単すぎると次への意欲が削がれます。「できるかな？」と自分の力とのギャップを感じさせる「受講者への挑戦」課題を出し達成感を感じさせる。

緊張感あるカリキュラムで知らず知らずのうちにタッチタイプが習得できる。

そのように工夫したローマ字の表を次ページに示します。

①		あ	い	う	え	お	や	ゆ	よ	
		1:A	2:I	3:U	4:E	5:O	6:Y			
							YA	YU	YO	
②	7: K	か KA	き KI	く KU	け KE	こ KO	きゃ KYA	きゅ KYU	きょ KYO	
	8: S	さ SA	し SI	す SU	せ SE	そ SO	しゃ SYA	しゅ SYU	しょ SYO	
	9: T	た TA	ち TI	つ TU	て TE	と TO	ちゃ TYA	ちゅ TYU	ちょ TYO	
	10: N	な NA	に NI	ぬ NU	ね NE	の NO	にゃ NYA	にゅ NYU	にょ NYO	ん NN
③	11: H	は HA	ひ HI	ふ HU	へ HE	ほ HO	ひゃ HYA	ひゅ HYU	ひょ HYO	
	12: M	ま MA	み MI	む MU	め ME	も MO	みゃ MYA	みゅ MYU	みょ MYO	
	13: R	ら RA	り RI	る RU	れ RE	ろ RO	りゃ RYA	りゅ RYU	りょ RYO	
	14: W	わ WA				を WO				
④	15: G	が GA	ぎ GI	ぐ GU	げ GE	ご GO	ぎゃ GYA	ぎゅ GYU	ぎょ GYO	
	16: Z	ざ ZA	じ ZI	ず ZU	ぜ ZE	ぞ ZO	じゃ ZYA	じゅ ZYU	じょ ZYO	
	17: D	だ DA	ぢ DI	づ DU	で DE	ど DO	ぢゃ DYA	ぢゅ DYU	ぢょ DYO	
	18: B	ば BA	び BI	ぶ BU	べ BE	ぼ BO	びゃ BYA	びゅ BYU	びょ BYO	
⑤	19: P	ぱ PA	ぴ PI	ぷ PU	ぺ PE	ぽ PO	ぴゃ PYA	ぴゅ PYU	ぴょ PYO	
⑥	20: V	ヴぁ VA	ヴぃ VI	ヴぅ VU	ヴぇ VE	ヴぉ VO				
⑦	21: L	ぁ LA	ぃ LI	ぅ LU	ぇ LE	ぉ LO	ゃ LYA	ゅ LYU	ょ LYO	
⑧	しいん かせ 子音を重ねる	つまる音 ^{おん}								
⑨	しいん かせ 子音を重ねる	つまってねじれる音 ^{おん}								
⑩	22: -	のびる音 ^{おん}								

©2014 NIPPON BCOM

表の①、②、③、④、⑤、⑥、⑦、⑧、⑨、⑩ は練習のステップです
10ステップは、やる気を引き出す工夫をしています。

緊張感あるカリキュラムで知らず知らずのうちにタッチタイプを習得できます。

「緊張感のあるカリキュラム」とするための工夫は次のような内容です。

①あいうえお やゆよ と練習します。Yの操作が受講者への挑戦です。

1 : A 2 : I 3 : U 4 : E 5 : O あいうえお 6 : Y やゆよ

②かきたな の行をまとめて練習します。「かきたな」とまとめるのが挑戦です。

7 : K 8 : S 9 : T 10 : N

かきくけこ きゃきゅきょ さしすせそ しゃしゅしょ

たちつてと ちゃちゅちょ なにぬねの にやにゅによ ん

③はまらわ とまとめて練習します。「はまらわ」とまとめるのが挑戦です。

11 : H 12 : M 13 : R 14 : W

はひふへほ ひゃひゅひょ まみむめも みゃみゅみよ

らりるれろ りゃりゅりょ わ を

④がざだば ここまで来るとできることが増え、「できること」で意欲が出てきます。

15 : G 16 : Z 17 : D 18 : B

がぎぐげご ぎゃぎゅぎょ ざじずぜぞ じゃじゅじょ

だちづでど ちゃちゅちょ ばびぶべぼ びゃびゅびょ

⑤ぱ行 ぱ行では、基礎練習にぴゃぴゅぴょの練習を入れていません。これが挑戦です。

19 : P ぱぴぷぺぽ ぴゃぴゅぴょ

⑥練習が進むのが面白く、次へ次へと練習が進みます。

20 : V ヴぁヴぁいヴぁえヴぁお

⑦小さな「あいうえお」の練習は、考えることを要求します。これが挑戦です。

21 : L あいうえお

⑧、⑨ 難しそうに感じます。これが挑戦です。つまる音、つまってねじれる音を整理し、身につけやすくしています。難しそうですが、みんな難なくこなします。

⑩のびる音「ー」、難しい位置にあります。指の型の理解で、難なくこなします。

10のステップを練習するメニューです。

基礎練習は、それぞれ1つです。

実践練習は、1つから4つまであります。

成績では、その行の練習の記録を見ることができます。

基礎	実践	成績
あ・や行	⇒ ① ⇒ ② ⇒ ③ ⇒ ④	成績 説明
かさたな	⇒ ① ⇒ ② ⇒ ③ ⇒ ④	成績
はまらわ	⇒ ① ⇒ ② ⇒ ③ ⇒ ④	成績
がざだば	⇒ ① ⇒ ② ⇒ ③ ⇒ ④	成績
ばびふべば	⇒ ①	成績
ウ行	⇒ ①	成績
「あ」行	⇒ ①	成績
つまる音	⇒ ① ⇒ ②	成績 説明
ねじれる音	⇒ ① ⇒ ②	成績 説明
のびる音	⇒ ①	成績 説明

11. ローマ字と50音の練習

次に説明する基礎練習と実践練習の2つの練習で、ローマ字入力の力をつけます。

基礎練習

先生に代わってキーの押し方、指の動かし方の手本を表示します。

手本の手をよく見て、指の使い方を練習します。



- Eを押す方法
- Eのキーボードでの位置
- Eを押す指：左手の中指
- Eを押す手の形



手本を見ながら

AIUEO と押す練習をします。

あいうえお	あいうえお
あいうえお	あいうえお
あいうえお	やゆよ
やゆよ	やゆよ
やゆよ	やゆよ

基礎練習と呼びます。

実践練習

AIUEO と押して、あいうえお と入力する練習をします。

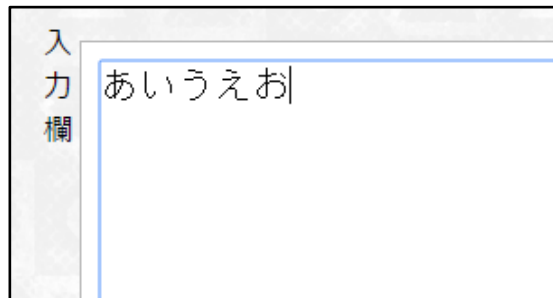
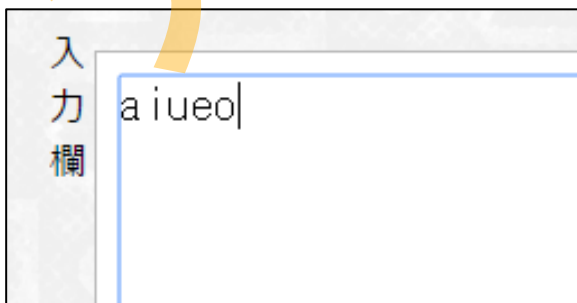
実践練習と呼びます。

AIUEO と押してみます。

下のように入力されます。

日本語入力システムをオンにしAIUEO

と押します。下のように入力されます。



1) あ・や の練習

「あ・や行」の基礎を練習します。

基礎 実践

あ・や行 ⇒ ① ⇒ ② ⇒ ③ ⇒ ④ 成績 説明



ホームポジションに指を置き、親指（左手の）で「スペース」キーを押します。



指の手本で「あいうえお やゆよ」を練習します。



ゆっくり、かくじつに。

指が表示されたら、そのまねをして動かしてください。

あいうえお	あいうえお
あいうえお	あいうえお
あいうえお	やゆよ
やゆよ	やゆよ
やゆよ	やゆよ

あ・や の練習内容です。

練習が終わると結果が表示されます。

れんしゅう ちゅうい
練習の注意

- 1) 手本の指の形をまねるようにゆっくり指を動かします。
- 2) 指ならし練習で A I U E O Y 全て練習しています。
ゆっくりでいいので、A I U E O Y A Y U Y O と手本を見て丁寧に練習してください。
- 3) あいうえお やゆよ と口に出すと練習するとよく覚えられます。
- 4) 2回練習したら、パーフェクトでなくても実践練習に移ります。
- 5) Yが難しそうですが、思い切って指を伸ばし押ししてください。

つぎは、実践練習：実際に文字を入れる練習です。

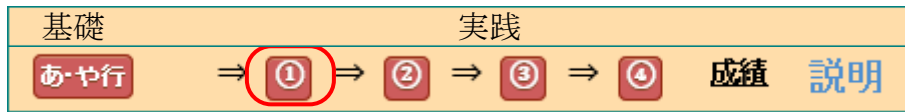
実践練習 ① ② ③ ④ に進みます。

あいうえお あおいいえ あえいうえおあお
あう あおうえ いう おい おう

A I U E O と押して
あいうえお
と入力する練習をします。
実践練習と呼びます。

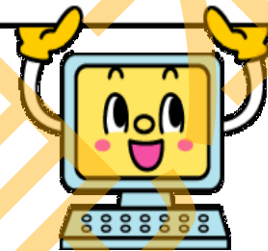
「あ・や行」の^{ぎょう}実践^{じっせんれんしゅう}練習

じっせん
実践①



じっさい もじ にゅうりょく れんしゅう
実際に文字を入力する練習です。

あいうえお やゆよ の^{れんしゅうもんだい}練習問題
は、①～④の4つ^{じゅんび}準備しています



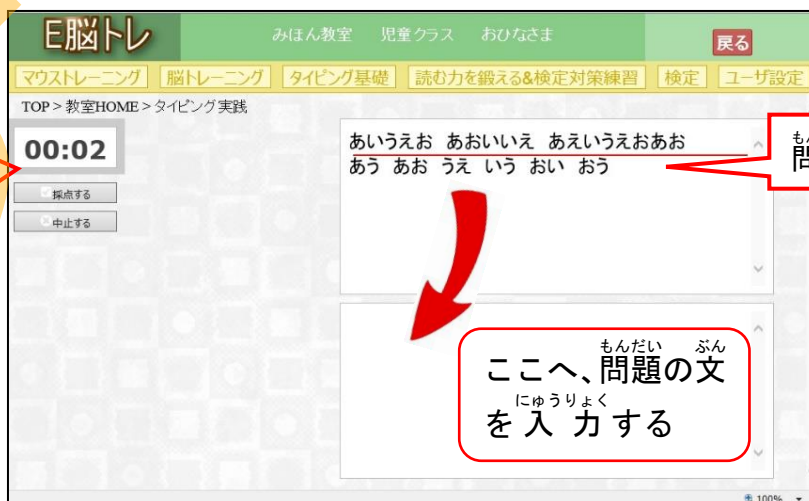
じっせん
実践① をマウスでクリックします。



「スペース」を^お押すと^{れんしゅう}練習が^{はじ}始まります。



けいかじかん
経過時間が
ひょうじ
表示されます



もんだい ひょうじ
問題が表示されます



まず、^{にゅうりょく}入力してみよう！！

^{にほんごにゅうりょく}日本語入力システムが^{とき}オンの時、

A⇒「あ」、I⇒「い」、U⇒「う」、E⇒「え」、「O」⇒「お」が^{にゅうりょく}入力できます。

^{つぎ}次の①、②、③、④、・・・⑫まで、ゆっくりで良いので、^{ちょうせん}挑戦してください。

(^{さいしょ}最初は、^{おも}思う通りになりませんが、^{さんこう}参考を^よ読んで^{れんしゅう}練習してください。)

- | | | | |
|---|--------------------|-----------------------|--|
| ① | 「あいうえお」 | ^{にゅうりょく} と入力 | |
| ② | 「Enter」(エンター)キーを押す | ^お | ^{かくてい} 確定 |
| ③ | 「 」 | 「スペース」キーを押す | ^{かんかく} 間隔 (スペース) ^{にゅうりょく} 入力 |
| ④ | 「あおいいえ」 | ^{にゅうりょく} と入力 | |
| ⑤ | 「Enter」(エンター)キーを押す | ^お | ^{かくてい} 確定 |
| ⑥ | 「 」 | 「スペース」キーを押す | ^{かんかく} 間隔 (スペース) ^{にゅうりょく} 入力 |
| ⑦ | 「あえいうえおあお」 | ^{にゅうりょく} と入力 | |
| ⑧ | 「Enter」(エンター)キーを押す | ^お | ^{かくてい} 確定 |
| ⑨ | 「Enter」(エンター)キーを押す | ^お | ^{かいぎょう} 改行 |
| ⑩ | 「あう」 | | |
| ⑪ | 「Enter」(エンター)キーを押す | ^お | ^{かいぎょう} 改行 |
| ⑫ | 「 」 | 「スペース」キーを押す | ^{かくてい} 確定 (スペース) ^{にゅうりょく} 入力 |

さんこう
参考

あい 下線かせんのついた状態じょうたいで 「スペース」キーを押すと「あい」をへんかん変換して
できる言葉ことばの候補こうほが表示ひょうじされてしまいます。

あい あ アイ
愛 会

候補こうほが表示ひょうじされている所ところで、Enter (エンター) を押すと表示ひょうじされている候補こうほ
が選えらばれます。

あい 下線かせんがある状態じょうたいを 未確定みかくていの状態じょうたいと呼びます。

あい 下線かせんのない状態じょうたいを 確定かくていの状態じょうたいと呼びます。

未確定みかくていの状態じょうたいでスペースキーを押したら変換へんかんされてしまいます。

未確定みかくていから確定かくていするには、どうすればいいか。未確定みかくていと確定かくていでの、スペースキーの働はたらきの

違ちがいなどを体験たいけんし、日本語入カシステムにほんごにゅうりょくがオンの時の入カときにゅうりょくに慣なれてください。

くわしくは、後半こうはんで練習れんしゅうします。

「あいうえお あおいいえ あえいうえおあお

あう あお うえ いう おい おう」と入カにゅうりょくします。

あいうえお あおいいえ あえいうえおあお
あう あお うえ いう おい おう



この赤い線あか せんは入カにゅうりょくしているお
よその位置いち ちを表あらわしています。

あいうえお あおいいえ あえいうえおあお
あう あお うえ いう おい おう

入カにゅうりょくができたなら「採点する」ボタンさいてんをクリックします。
「中止する」で中斷ちゅうしもできます。

e-脳トレ 膳所駅前ITサロン キッズ びいこむ 戻る

マウス 脳トレ タイピング基礎

TOP > 教室HOME > タイピング実践

00:56

問題文
あいうえお あおい
あお うえ

採点する さいてん 採点する

中止する ちゅうし 中止する

- 問題文スクロール方法: Alt+↑ / Alt+↓
- 入力文スクロール方法: ↑ / ↓
- 赤い線は入力位置の目安です。

問題文字数: 38
入力文字数: 38
正解: 33
誤字: 4
余字: 1
脱字: 1
削除回数: 0回
入力時間: 0分56秒
入力速度: 35字/分
正解率: 75.4
ポイント: 75点

OK

「OK」をクリックすると成績が せいせき 左の欄に移ります ひだり らん うつ

e-脳トレ 膳所駅前ITサロン キッズ びいこむ 戻る

マウス 脳トレ タイピング基礎 文章練習 検定 ユーザ設定

TOP > 教室HOME > タイピング実践

00:56

問題文
あいうえお あおい いえ あえい うえ あお
あ あお うえ いう おい お

再挑戦する

入力欄
あいうえお あおい いえ あえい うえ あお
あ あお うえ いう おい お

脱字

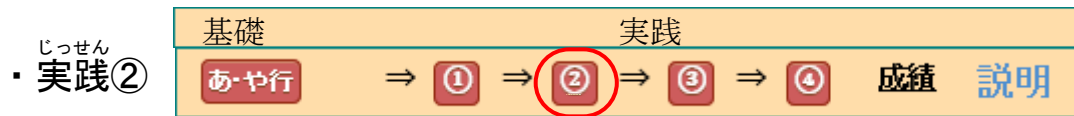
誤字

問題文字数: 38
入力文字数: 38
正解: 33
誤字: 4
余字: 1
脱字: 1
削除回数: 0回
入力時間: 0分56秒
入力速度: 35字/分
正解率: 75.4
ポイント: 75点

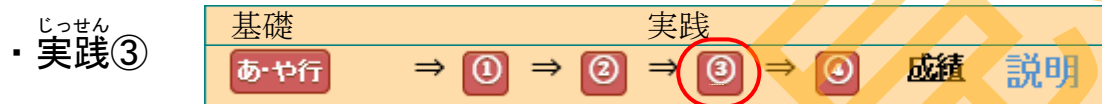
- 誤字 ごじ 問題と入力文字が違っている もんだい にゅうりよくもじ ちが
- 余字 よじ 問題にない文字を入力している もんだい もじ にゅうりよく
- 脱字 だつじ 問題の字が抜けている もんだい じぬ

つぎ れんしゅう くだ
次の練習をして下さい。

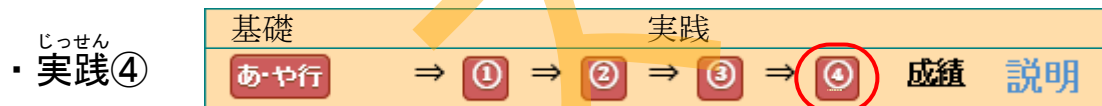
じっせん れんしゅう つぎ じっせん れんしゅう すこ まちが つぎ
実践①を練習したら次は、実践②を練習します。少し間違いがあっても次へ
うつ じっせん じっせん じっせん れんしゅう かい つぎ れんしゅう うつ
移ります。実践②、実践③、実践④ の練習も1回で次の練習に移ります。



あえ うお いえ あい おう あえ
いう あお えい あえ うえ うお
いえ あい おう いう あお



やゆよ やよい よいゆ いやよ
あや あう よいよ ゆい ゆう やよい



やい おゆ うよ あや やえ よい ゆう
よえ おや えいよ よゆう あや あゆ
いやよ よいよ ゆい ゆう やい おゆ

れんしゅう けっか ふじゅうぶん つぎ もんだい すす
練習の結果が不十分でも、次の問題へ進みます。

- ① あ・や ② かさたな ③ はまらわ ④ がざだば ⑤ ぱ行 ⑥ ヴあヴいヴえヴお
⑦ 小さな「あいうえお」 ⑧、⑨ つまる音、つまってねじれる音 ⑩ のびる音「ー」

10ステップを最後まで練習することで、身につける内容を理解することができます。
⑩のびる音「ー」まで練習したら、① あ・や のステップに戻って復習します。
この復習で不確かなところも身につけることができます。

タッチタイプの練習時間は、30分程度を目安とします。

30分を超えると集中できなくなります。

練習を終える方法は、あ・やの実践練習がおわって30分を超えたときは、

メニューボタンを押しメニューに戻ります。

あ・や行の実践練習が終わったら「メニュー」ボタンをクリックします。



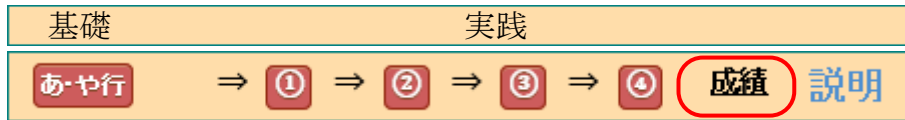
れんしゅう お
練習が終わったら

「あ・や」の「実践練習」を終えて今日の練習を終わる。



メニューに戻り「成績」をクリックするとこれまでの成績が表示されます。

「成績」ボタンをクリックします。



基礎練習

	40問	20問	前+5	前10	前20
正解率(%)	55	55	55	55	55
ミスタイプ数(文字)	1	1	0	1	0
正解率(%)	55	60	100	98	100
速度(字/分)	41	53	55	73	89
評価	ⓧ	ⓧ	ⓧ	ⓧ	ⓧ

実践練習①

	40問	20問	前+5	前10	前20
正解率(%)	100	100	100	100	100
速度(字/分)	15	15	24	37	49
評価	ⓧ	ⓧ	ⓧ	ⓧ	ⓧ

実践練習②

	40問	20問	前+5	前10	前20
正解率(%)					
速度(字/分)					
評価			ⓧ	ⓧ	

実践練習③

	40問	20問	前+5	前10	前20
正解率(%)					
速度(字/分)					
評価			ⓧ	ⓧ	

実践練習④

	40問	20問	前+5	前10	前20
正解率(%)					
速度(字/分)					
評価			ⓧ	ⓧ	

基礎と実践練習①～④の成績が
グラフと正解率で表示され
3段階で評価されます。

練習をしていない時 **あ・や行**

練習を行った後 **あ・や行**

基礎と実践練習①～④の成績が

- ⓧ 正解率95%以上 文字数/分 100文字以上
- ⓧ 正解率90%以上 文字数/分 50文字以上
- ⓧ 正解率95%以上

きそれんしゅう 基礎練習 練習の仕方

きそ基礎	じっせん実践	せいせき成績	説明
あ・や行	⇒ ① ⇒ ② ⇒ ③ ⇒ ④	成績	説明
かきたな	⇒ ① ⇒ ② ⇒ ③ ⇒ ④	成績	説明
はまらわ	⇒ ① ⇒ ② ⇒ ③ ⇒ ④	成績	説明
かきたば	⇒ ① ⇒ ② ⇒ ③ ⇒ ④	成績	説明
はびふべほ	⇒ ①	成績	説明
う行	⇒ ①	成績	説明
「あ」行	⇒ ①	成績	説明
つまる音	⇒ ① ⇒ ②	成績	説明
ねじれる音	⇒ ① ⇒ ②	成績	説明
のびる音	⇒ ①	成績	説明

成績一覧表

成績一覧

基礎練習	実践練習			
	1	2	3	4
あ・や行	優			
かきたな				
はまらわ				
かきたば				
はびふべほ				
う行				
「あ」行				
つまる音				
ねじれる音				
のびる音				

■ : 1回練習済み
■ : 2回練習済み
■ : 3回練習済み
■ : 4回練習済み
■ : 5回以上練習済み
■ : 今日練習した項目
■ : 前回練習した項目(直近日)

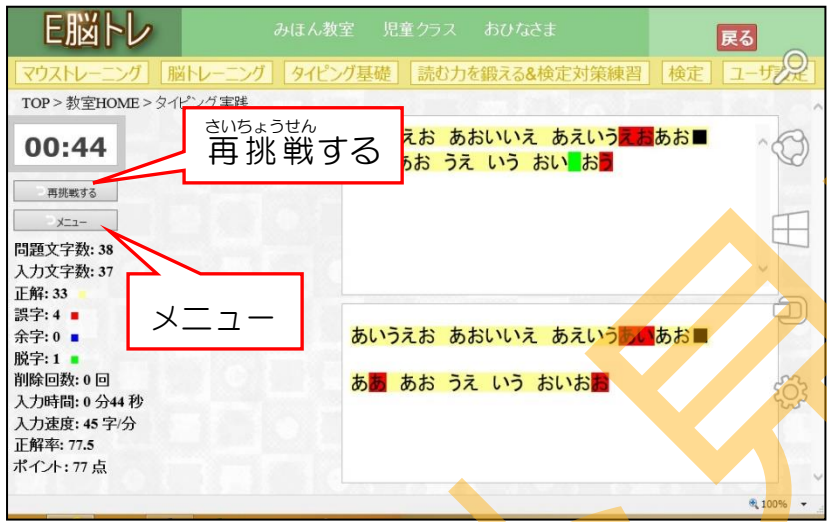
成績一覧表

基礎練習	実践練習			
	1	2	3	4
あ・や行	優	優	良	優
かきたな	優	優	良	優
はまらわ	優	良		
かきたば				
はびふべほ				
う行				
「あ」行				
つまる音				
ねじれる音				
のびる音				

■ : 1回練習済み
■ : 2回練習済み
■ : 3回練習済み
■ : 4回練習済み
■ : 5回以上練習済み
■ : 今日練習した項目
■ : 前回練習した項目(直近日)

つぎ 次の「かきたな」に進む方法を説明します。

基礎練習の「かきたな」の練習へ進む時は、「メニュー」をクリックします。
 タイピング基礎のメニュー画面に戻ります。



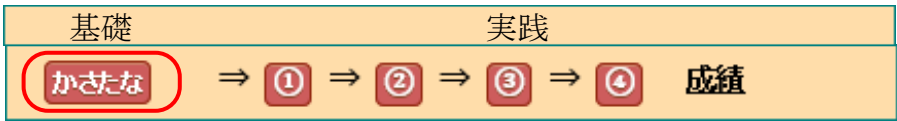
今日の練習を終える時は「ログアウト」をクリックします。

ログアウト



2) かさたな の練習

「かさたな」の「基礎」を練習します。



ホームポジションに指を置き、親指で「スペース」キーを押します。



ゆっくり、かくじつに。

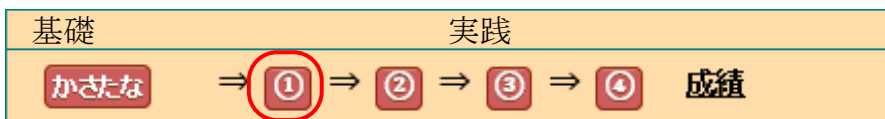
指が表示されたら、そのままを動かしてください。

かきくけこ	きやきゆきよ	
かきくけこ	きやきゆきよ	
さしすせそ	しやしゆしよ	
さしすせそ	しやしゆしよ	
たちつてと	ちやちゆちよ	
たちつてと	ちやちゆちよ	
なにぬねの	にやにゆによ	ん
なにぬねの	にやにゆによ	ん

かさたな 行の練習内容です。

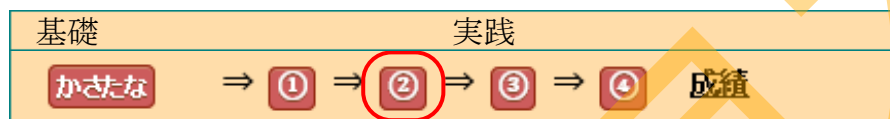
「かきたな」の「^{じっせん}実践」^{れんしゅう}練習^{おこな}を行います。

• ^{じっせん}実践①



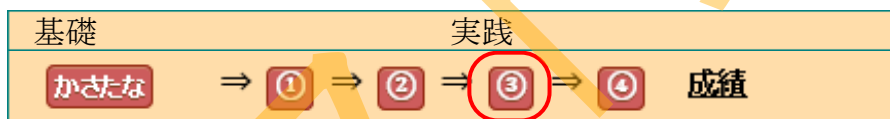
かきくけこ きゃきゅきよ さしすせそ しゃしゅしよ
 たちつとと ちゃちゅちよ なにぬねの にやにゅによ ん

• ^{じっせん}実践②



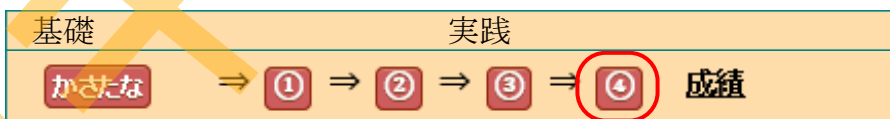
かさ かす きなこ せき くさ くせ けす けんさ
 こん ちこく しか しせい そこ そと たに つた
 くち ちえ つち そこ てんき のと ぬか ぬし たね

• ^{じっせん}実践③



のうか のんき にしき にく ぬく ちけい けねん
 さす さてい なし しそ きち すな いす すその
 せと せかい たな せんたく つな てつ とんや

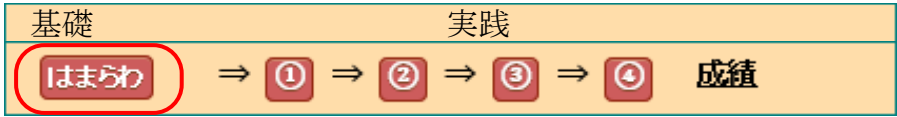
• ^{じっせん}実践④



きやたつ きゅうそく きょうしつ しゃかい しゅうしょく
 ちやくせき ちゅうい ちょうさ こんにやく にゅうよく
 にゅうこ によきによき

3) はまらわ ^{れんしゅう} の練習

「はまらわ」の「^{きそ}基礎」を^{れんしゅう}練習します。



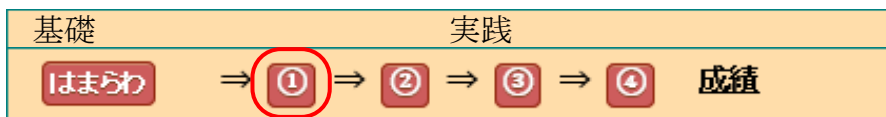
ホームポジションに^{ゆび}指を置き、^お親指で「スペース」キーを^お押します。



はひふへほ ひゃひゅひよ
まみむめも みやみゆみよ
らりるれろ りやりゆりよ
わを

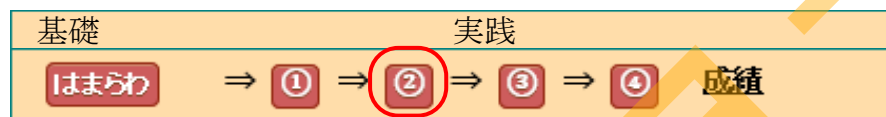
「はまらわ」の「実践」練習を行います。

じっせん
実践①



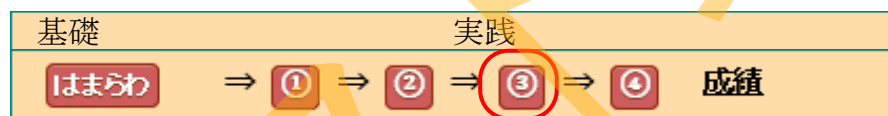
はひふへほ ひゃひゆひよ まみむめも みやみゆみよ
らりるれろ りやりゆりよ わを

じっせん
実践②



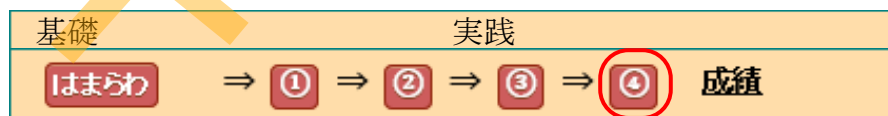
はかり はけ ひまわり ひとり ふつう ふね へいき
へた へや ほし ほたて まえ まと まほう みちくさ
みなみ みのむし むかし むこう めかくし めし めはな

じっせん
実践③



もも もやし らくらく らんかん ゆり やもり にりん
るりいろ はる あひる れい れんこん ろうか ろうや
ひやくにん ひやくかい ひゅうひゅう

じっせん
実践④



ひょうほん ひょうご みやく さんみやく みゆんへん
みょうあん みょうちょう りやくしき しょうりやく りゅう
りゅうこう ちょうみりょう りょうり みりよく えんりよ

4) がざだば ^{れんしゅう} の練習

「がざだば」の「^{きそ}基礎」を^{れんしゅう}練習します。

基礎	実践				
がざだば	⇒ ①	⇒ ②	⇒ ③	⇒ ④	成績

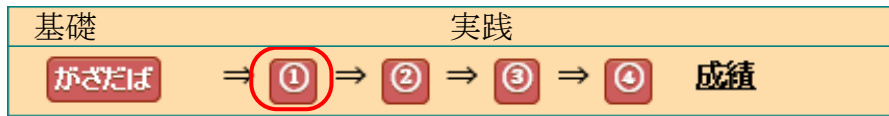
ホームポジションに^{ゆび}指を置き、^{おやゆび}親指で「スペース」キーを^お押します。



がぎぐげご	ぎゃぎゅぎょ
ざじずぜぞ	じゃじゅじょ
だぢづでぞ	ぢゃぢゅぢょ
ばびぶべぼ	びゃびゅびょ

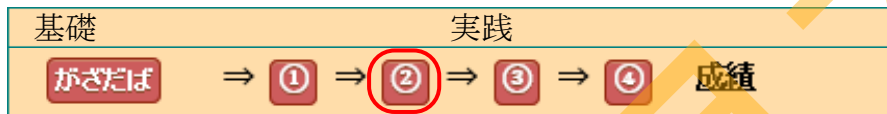
「がざだば」の「^{じっせん}実践」^{れんしゅう}練習^{おこな}を行います。

・ ^{じっせん}実践①



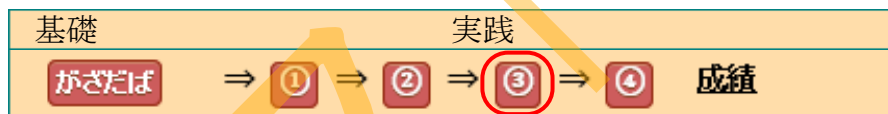
がぎぐげご ぎやぎゆぎよ ざじずぜぞ じゃじゆじよ
 だちづでど ぢゃぢゆぢよ ばびぶべぼ びゃびゆびよ

・ ^{じっせん}実践②



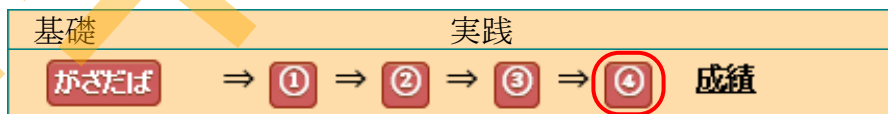
いちがつ がんこ ぎん えんぎ かぎ あまぐ ぐるめ
 もぐら げんこつ こうげき あご ごま すごろく あなご
 ざる ざぶとん じかん あじ ずが あずき ごぜん あんぜん

・ ^{じっせん}実践③



ぞうきん なぞなぞ だいこん だいく はなち まちか つづき
 こづつみ でんわ でんとう どびん どうろ ばけつ ぱくはつ
 びじん びわ ぶき あぶら おしべ かべ ぼうし ごぼう

・ ^{じっせん}実践④



ぎやく ぎやんぐ ぎゅうぎゅう ぎゅうにゅう ぎょうざ
 ぎょうれつ じゃぐち じゃんぐる じゅぎょう じゅみょう
 じょせい じょうだん さんびやく びょういん がびょう
 ろくじゅうびょう

5) ぱぴふべぽ ^{れんしゅう} の練習

「ぱぴふべぽ」の「^{きそ}基礎」を^{れんしゅう}練習します。

基礎	実践	
ぱぴふべぽ ⇒ ①		成績

ホームポジションに^{ゆび}指を置き、^お親指で「^{おやゆび}スペース」キーを^お押します。



ぱぴふべぽ ぱぴふべぽ
 ぱぴふべぽ ぱぴふべぽ
 ぱぴふべぽ

「ぱぴふべぽ」の「^{じっせん}実践」^{れんしゅう}練習を^{おこな}行います。

じっせん
 ・実践①

基礎	実践	
ぱぴふべぽ ⇒ ①		成績

ぱぴふべぽ ぴやぴゆびよ
 こんぱ ぱんち ぱずる ぴんち ぴんく
 ぴんぼん ぷりくら ぷりん ぺんき ぺんぎん
 ぺんぺんぐさ ぽばい さんぽ ぽんかん ぽぶら
 ぽとと でんぼう

見本天下

6) ヴ行の練習

「ヴ行」の「基礎」を練習します。

基礎	実践	成績
① ヴ行	⇒ ①	

ホームポジションに指を置き、親指で「スペース」キーを押します。



ヴァヴィヴヴェヴォ
 ヴァヴィヴヴェヴォ
 ヴァヴィヴヴェヴォ
 ヴァヴィヴヴェヴォ

バイオリン ⇒ ヴァイオリン、 ベール ⇒ ヴェール のように
 外国で発音されているもとの発音に近い音であらわすことが多くなってきました。
 このようにして使われるヴァ、ヴィ、ヴ、ヴェ、ヴォ の練習をします。

ぎょう じっせん れんしゅう おこな
「ヴ行」の「実践」練習を行います。

じっせん
・実践①

基礎	実践	成績
ヴ行	⇒ ①	

ヴァヴィヴヴェヴォ ヴァヴィヴヴェヴォ
ヴァイオリン ヴァレンタイン ヴィトン
ヴェニス ヴェノスアイレス ヴォイド

7) 小さい「あ」行の練習

ウィスキー ウェディング シュワルツェネッガー のように

小さな「あ」「い」「う」「え」「お」を入力する練習をします。

外来語の入力でよく使います。

外来語は、アメリカ、コーヒー のようにカタカナを使います。

外来語には、50音の表には無い音がたくさんあります。

ウィスキーの「ウィ」、ウェディングの「ウェ」 のような音です。

「ウィスキー」は「ういすきー」、「ウェディング」は「うえていんぐ」 のように
ひらがな から カタカナ にして作ります。これは後で練習します。

「ウィ」「ウェ」のような音は、次のように約30近くあります。

シエ、チェ、ツア、ツエ、ツオ、ティ、ファ、フィ、フェ、フォ、ジエ、ディ
イエ、ウィ、ウェ、ウォ、クア、クイ、クエ、クオ、ツイ、ツウ、グア、ドウ

これらは、シ チ ツ テ フ ジ イ ウ ク グ と小さな アイウエオ
を組み合わせる「ウィ」は「ウ」+「イ」、「ウ」+「エ」 のようにして作ります。

小さな「あ」「い」「う」「え」「お」はLとA、I、U、E、O を組み合わせる作ります。
LAで「あ」、LIで「い」、LUで「う」、LEで「え」、LOで「お」のようにします。
うえていんぐ : ULEDEL INNGU 覚えるのは、「L」を使うことです。



「あ^{ぎょう}行」の「基^き礎^そ」を練^{れん}習^{しゅう}します。

基礎	実践
「あ」行 ⇒ ①	成績

ホームポジションに指^{ゆび}を構^{かま}え、親^{おやゆび}指^おで「スペース」キーを押^おします。



あいうえお
あいうえお
あいうえお
あいうえお

「あ」行^{ぎょう}の「実^{じっ}践^{せん}」練^{れん}習^{しゅう}を^{おこな}行^{おこな}います。

じっせん
・実践①

基礎	実践
「あ」行 ⇒ ①	成績

あいうえお あおいいえ あえいうえおあお
まあち へでいんぐ でいずにい はんていんぐ
ぱふえ うえぶ ふえんす ふえるとぺん ふおるて
てれふおん

8) 「つまる音」の練習 おん れんしゅう

例：さおんっれいか、におんっれいき

さおんっれいか は SAKKA
 におんっれいき は NIKKI

「か：KA」のつまる音は「っおんか：KKA」
 「き：KI」のつまる音は「っおんき：KKI」

つまる音の数は次の20こです。(例：右の表) おん かす つぎ れい みぎ ひょう

っおんか、っおんき、っおんく、っおんけ、っおんこ
 っおんさ、っおんし、っおんす、っおんせ、っおんそ
 っおんた、っおんち、っおんつ、っおんて、っおんと
 っおんぱ、っおんぴ、っおんぷ、っおんぺ、っおんぽ

っ <small>おん</small> か	さ <small>おん</small> っ <small>れい</small> か
っ <small>おん</small> き	に <small>おん</small> っ <small>れい</small> き
っ <small>おん</small> く	い <small>おん</small> っ <small>れい</small> く
っ <small>おん</small> け	い <small>おん</small> っ <small>れい</small> け
っ <small>おん</small> こ	い <small>おん</small> っ <small>れい</small> こ
っ <small>おん</small> さ	き <small>おん</small> っ <small>れい</small> さ
っ <small>おん</small> し	に <small>おん</small> っ <small>れい</small> し
っ <small>おん</small> す	い <small>おん</small> っ <small>れい</small> すん
っ <small>おん</small> せ	い <small>おん</small> っ <small>れい</small> せい
っ <small>おん</small> そ	い <small>おん</small> っ <small>れい</small> そく
っ <small>おん</small> た	い <small>おん</small> っ <small>れい</small> た
っ <small>おん</small> ち	こ <small>おん</small> っ <small>れい</small> ち
っ <small>おん</small> つ	み <small>おん</small> っ <small>れい</small> つ
っ <small>おん</small> て	き <small>おん</small> っ <small>れい</small> て
っ <small>おん</small> と	ほ <small>おん</small> っ <small>れい</small> と
っ <small>おん</small> ぱ	は <small>おん</small> っ <small>れい</small> ぱ
っ <small>おん</small> ぴ	は <small>おん</small> っ <small>れい</small> ぴ
っ <small>おん</small> ぷ	き <small>おん</small> っ <small>れい</small> ぷ
っ <small>おん</small> ぺ	ほ <small>おん</small> っ <small>れい</small> ぺ
っ <small>おん</small> ぽ	し <small>おん</small> っ <small>れい</small> ぽ

つまる音は20。
 工夫された練習で楽に身につけることができます。

「つまる音」の「基礎」を練習します。

基礎	実践			成績	説明
つまる音	⇒	①	⇒	②	

ホームポジションに指を構え、親指で「スペース」キーを押します。



つか	つき	つく	つけ	っこ
つさ	つし	つす	つせ	つそ
つた	つち	つつ	つて	つと
つぱ	つぴ	つぶ	つぺ	つぽ

「つまる音」の「実践」練習を行います。

・ 実践①

基礎	実践			成績	説明
つまる音	⇒	①	⇒	②	

つか	つき	つく	つけ	っこ
つさ	つし	つす	つせ	つそ
つた	つち	つつ	つて	つと
つぱ	つぴ	つぶ	つぺ	つぽ

・ 実践②

基礎	実践			成績	説明
つまる音	⇒	①	⇒	②	

さつか	につき	いっく	いっけ	いっこ
きっさ	につし	いっすん	いっせい	いっそく
いった	につち	みつつ	きって	ぽっと
はっぱ	はっぴ	きつぶ	ほっぺ	しっぽ

9) 「ねじれる音」の練習

いっきやく、いっきよく の「っきゃ」「っきょ」のような音を
「つまってねじれる音」短くして「ねじれる音」と呼びます。

ここでは、いっきやく、いっきよく のようなねじれる音の練習をします。

例：いっきやく、いっきよく

っきゃ っきょ はつまる音の後ろの子音を重ねて入力します。

いっきやく は IKKYAKU

いっきよく は IKKYOKU

「きゃ：KYA」のつまった音は「っきゃ：KKYA」
つまってねじれる音は次の11です。(例：右の表)

っきゃ、 っきゅ、 っきょ
 っしゃ、 っしゅ、 っしょ
 っちゃ、 っちゅ、 っちょ
 っぴゃ、 っぴょ

つまってねじれる音は11。

工夫された練習で楽に身につけることができます。

っきゃ	い <u>っ</u> きやく
い <u>き</u> ゅ	い <u>っ</u> きゅう
っきょ	て <u>っ</u> きょう
っしゃ	し <u>ゅ</u> っしゃ
っしゅ	い <u>っ</u> しゅう
っしょ	い <u>っ</u> しゅう
っちゃ	い <u>っ</u> ちやく
っちゅ	ひ <u>っ</u> ちゅう
っちょ	い <u>っ</u> ちょう
っぴゃ	ろ <u>っ</u> ぴやく
っぴょ	い <u>っ</u> ぴょう

「ねじれる音」の「基礎」を練習します。

基礎	実践		成績	説明
ねじれる音	⇒ ①	⇒ ②		

ホームポジションに指を構え、親指で「スペース」キーを押します。



つきや つきよ つきよ
 つしや つしゆ つしよ
 つちや つちゆ つちよ
 つぴや つぴゆ つぴよ

「ねじれる音」の「実践」練習を行います。

じっせん
 ・実践①

基礎	実践		成績	説明
ねじれる音	⇒ ①	⇒ ②		

つきや つきゆ つきよ つしや つしゆ つしよ
 つちや つちゆ つちよ つぴや つぴゆ つぴよ

じっせん
 ・実践②

基礎	実践		成績	説明
ねじれる音	⇒ ①	⇒ ②		

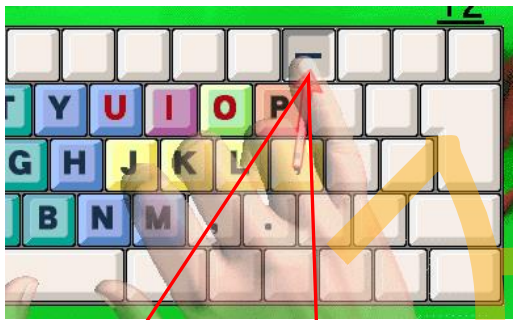
いっきやく いっきゆう てっきよう
 しゅっしや いっしゆう いっしょう
 いっちやく ひっちゆう いっちよう
 ろっぴやく いっぴよう

10) 「のびる音」の練習

てーま、ろーま、のような長音の「ー」を使う音の練習です。

ろーま	RO-MA	てーま	TE-MA
ろーそく	RO-SOKU	げーむ	GE-MU
しーそー	SI-SO-	あーもんど	A-MONNDO
てーぶる	TE-BURU	にゅーよーく	NYU-YO-KU
さーかす	SA-KASU	すとろー	SUTORO-
のーと	NO-TO	たくしー	TAKUSI-
びーち	BI-TI	ろーまじ	RO-MAZI
のーべるしょう	NO-BERUSYOU		

◆ 「ー」右手小指



ひとさしゆび
人差指をホームポジションに置きコンパスで弧を描く
こえが
ように小指を「ー」まで上にひねって押す。

「のびる音」の「基礎」を練習します。

基礎	実践
のびる音 → ①	成績 説明

ホームポジションに指を構え、親指で「スペース」キーを押します。



しーそー のーと てーぶる
 すとろー こーひー きーぼーど
 げーむ けーす あーもんど
 ろーまじ ろーそく のーべるしょう
 おーとばい めーる わーぷろ
 たくしー こんさーと すぴーち
 るーつ さーかす びーち
 べびーかー ぱとかー りーち
 ペーじ すーぱー にゅーよーく
 おーすとらりあ

「のびる音」の「実践」練習を行います。

基礎	実践
のびる音 ⇒ ①	成績 説明

こーひー しーそー すきー けーき そーす
 でばーと らーめん じゅーす ぴーまん しーそー
 すーぱーまーけっと こんぴゅーた よーろっぱ

キーボードを使って「ひらがな」を入力する練習が全てできました。

ふくしゅう
【復習】

ローマ字の表に従い50音の練習をしました。日本語を入力する基礎ができました。ローマ字でひらがなを入力する方法を理解できました。

この基礎をしっかりとするために
ローマ字の表にそって復習します。

①		あ	い	う	え	お	や	ゆ	よ	
		1:A	2:I	3:U	4:E	5:O	6:Y			
②	7: K	か KA	き KI	く KU	け KE	こ KO	きゃ KYA	きゅ KYU	きょ KYO	
	8: S	さ SA	し SI	す SU	せ SE	そ SO	しゃ SYA	しゅ SYU	しよ SYO	
	9: T	た TA	ち TI	つ TU	て TE	と TO	ちゃ TYA	ちゅ TYU	ちよ TYO	
	10: N	な NA	に NI	ぬ NU	ね NE	の NO	にゃ NYA	にゅ NYU	にょ NYO	ん NN
③	11: H	は HA	ひ HI	ふ HU	へ HE	ほ HO	ひゃ HYA	ひゅ HYU	ひょ HYO	
	12: M	ま MA	み MI	む MU	め ME	も MO	みゃ MYA	みゅ MYU	みよ MYO	
	13: R	ら RA	り RI	る RU	れ RE	ろ RO	りゃ RYA	りゅ RYU	りよ RYO	
	14: W	わ WA			を WO					
④	15: G	が GA	ぎ GI	ぐ GU	げ GE	ご GO	ぎゃ GYA	ぎゅ GYU	ぎょ GYO	
	16: Z	ざ ZA	じ ZI	ず ZU	ぜ ZE	ぞ ZO	じゃ ZYA	じゅ ZJU	じょ ZJO	
	17: D	だ DA	ぢ DI	づ DU	で DE	ど DO	ぢゃ DYA	ぢゅ DYU	ぢょ DYO	
	18: B	ば BA	び BI	ぶ BU	べ BE	ぼ BO	びゃ BYA	びゅ BYU	びょ BYO	
⑤	19: P	ぱ PA	ぴ PI	ぷ PU	ぺ PE	ぽ PO	ぴゃ PYA	ぴゅ PYU	ぴょ PYO	
⑥	20: V	ヴぁ VA	ヴぃ VI	ヴぅ VU	ヴぇ VE	ヴぉ VO				
⑦	21: L	ぁ LA	ぃ LI	ぅ LU	ぇ LE	ぉ LO	ゃ LYA	ゅ LYU	ょ LYO	
⑧	しゅん がい 子音を重ねる	つまる音								
⑨	しゅん がい 子音を重ねる	つまってねじれる音								
⑩	22: -	のびる音								

©2014 NIPPON BCOM

基礎	実践	成績	説明
優 あ・や行	⇒ ① ⇒ ② ⇒ ③ ⇒ ④	成績	説明
優 かさたな	⇒ ① ⇒ ② ⇒ ③ ⇒ ④	成績	
優 はまらわ	⇒ ① ⇒ ② ⇒ ③ ⇒ ④	成績	
優 がざだば	⇒ ① ⇒ ② ⇒ ③ ⇒ ④	成績	
優 ばひぶべ	⇒ ①	成績	
優 ヅ行	⇒ ①	成績	
優 「あ」行	⇒ ①	成績	
優 つまる音	⇒ ① ⇒ ②	成績	説明
優 ねじれる音	⇒ ① ⇒ ②	成績	説明
良 のびる音	⇒ ①	成績	説明

ふくしゅう ほうほう
【復習の方法】

のびる音「一」の練習が終わると次のようになっています。

成績は、優でなくてもかまいません。

また、復習では基礎は練習しないで、実践①、②、③などを練習します。

図の赤い枠の中を練習します。

練習の回数は、1回で、次の練習へ進みます。

基礎練習 練習の仕方

基礎	実践	成績
優 あ・や行	⇒ ① ⇒ ② ⇒ ③ ⇒ ④	成績 説明
優 かさたな	⇒ ① ⇒ ② ⇒ ③ ⇒ ④	成績
優 はまらわ	⇒ ① ⇒ ② ⇒ ③ ⇒ ④	成績
優 がざだば	⇒ ① ⇒ ② ⇒ ③ ⇒ ④	成績
優 ばびぶへほ	⇒ ①	成績
優 づ行	⇒ ①	成績
優 「あ」行	⇒ ①	成績
優 つまる音	⇒ ① ⇒ ②	成績 説明
優 ねじれる音	⇒ ① ⇒ ②	成績 説明
良 のびる音	⇒ ①	成績 説明

この復習が終わったら漢字やカナなどに変換する練習を始めます。

ローマ字での50音の入力に自信が持てない時は、もう一度、「あ・や」の行から復習してください。

12. 変換練習

ローマ字入力で入力したひらがなを、漢字やカタカナなどに置き換える練習です。

ひらがな → 漢字 や、ひらがな → カタカナに置き換える作業を「変換」と呼びます。

『6月の青い空に祝福されたウェディングは最高でした。』

入力した「ひらがな」を日本語入力システムで漢字・カナまじりの文にします。

ろくがつの	へんかん (変換)	がつの
あおいそらに	へんかん (変換)	あおいそらに
しゆくふくされた	へんかん (変換)	しゆくふくされた
うえていんぐは	へんかん (変換)	ウェディングは
さいこうでした	へんかん (変換)	さいこう 最高でした

へんかんきのう
変換機能

『6月の青い空に祝福されたウェディングは最高でした。』ができて上がります。

変換には「スペース」キーを使います。押しやすいキーなので変換に使います。

(「スペース」キーは、間隔をあける機能でも使うので使いわける練習が大切です。)

まず、実際に変換する練習をしましょう。



「スペース」キーは左手の親指で押すようにします。
(右手は、「Enter」キーを押すなどでよく使うので)

【参考】この内容は、先生に説明してもらってください。

変換する時、候補や文の区切りがコンピュータと違うことが起こります。次のようになったときは、ここに書いてあることを思い出してください。
詳しくは、文の区切りの練習で説明します。

□ 文節の長さを短くする

「手に持つ」と入力するために

「てにもつ」と入力して変換したら「手荷物」となってしまった。

「てに」で変換して「手に」とするために、文節を短くします。

「手荷物」の状態、「Shift」キーを押しながら「←」を押すと文節が左に短くなる。

「←」で「てにもつ」もう一度「←」で「てにもつ」となる。

ここで、変換をすると「手に持つ」と変換されます。

「手に持つ」ここで確定させます

□ 文節の長さを長くする

「柿の木」と入力するために

「かきのき」と入力して変換したら「柿軒」となってしまった。

「柿軒」を「かきのき」と「かき」と「のき」となっている文節を

「かき」の文節を一つ伸ばして「かきの」と「き」としたい。

「柿軒」の所で「Shift」キーを押しながら「→」を押すと文節が右に長くなります。

「かきのき」ここで変換すると「柿の木」となる。

1) 漢字への変換の練習

変換の練習は、実践練習で実際に変換する体験をしながら身につけます。

水 空 右 音 男 村 車 青 耳 山 目 のように漢字を入力します。

水 とするには①②③ ④の「スペース」キーの後 空に⑤⑥⑦の操作が必要です。

- | | | | |
|---|------------|--------------|------------|
| ① | <u>み</u> ず | 「みず」と入れる | ひらがな入力 |
| ② | 水 | 「スペース」キーを押す | 漢字変換 |
| ③ | 水 | 「Enter」キーを押す | 確定 |
| ④ | 「 」 | 「スペース」キーを押す | 間隔（スペース）入力 |
| ⑤ | <u>そ</u> ら | 「そら」と入れる | ひらがな入力 |
| ⑥ | 空 | 「スペース」キーを押す | 漢字変換 |
| ⑦ | 空 | 「Enter」キーを押す | 確定 |

慣れるまで、① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ の操作を練習してください。

さんこう
参考

あい 下線かせんのついた状態じょうたいで 「スペース」キーを押すと「あい」を変換へんかんして
できる言葉ことばの候補こうほが表示ひょうじされます。

あい 愛 会い アイ

候補こうほが表示ひょうじされている所ところで、「Enter」キーを押すと表示ひょうじされている候補こうほ
が選えらばれます。

あい 下線かせんがある状態じょうたいを 未確定みかくていの状態じょうたい

あい 下線かせんのない状態じょうたいを 確定かくていの状態じょうたいと呼びます。

みかくてい 未確定で「スペース」キーを押す、未確定みかくていから確定かくていするには、未確定みかくていと確定かくていでの、

「スペース」キーの働はたらきの違ちがいなどを体験たいけんし、日本語入にほんごにゅうりょく力システムがオンの時ときの入にゅうりょく力
に慣なれてください。 くわしくは後半こうはんで練習れんしゅうします。

かんじ じっせん れんしゅう おこな
 「漢字」の「実践」練習を行います。

- 1つの漢字が当てはまる時の練習

基礎	実践		成績	説明
漢字	①	⇒	②	

じっせん
 ・実践①

みず	そら	みぎ	おと	おとこ	むら	くるま	あお	みみ	やま	め	いち
水	空	右	音	男	村	車	青	耳	山	目	一
おう	いぬ	あか	つき	ひだり	はやし	くに	いわ	うた	ゆみ	いもうと	ひと
王	犬	赤	月	左	林	国	岩	歌	弓	妹	人
めいじん	じぶん	さんすう	えきちよう	まいにち	りか	おんがく	きいろ				
名人	自分	算数	駅長	毎日	理科	音楽	黄色				

- 2つ以上の候補がある時の練習

「いち」と入力し変換すると 一、市、位置、イチ などいくつも候補がでます。

入力したい漢字があらわれたところで「Enter」キーで確定します。

じっせん
・実践②

基礎		実践										
漢字		①	⇒	②	成績		説明					
いち	に	さん	し	ご	ろく	しち	はち	きゅう	ぶん	き	ひ	
一	二	三	四	五	六	七	八	九	文	木	火	
いち	に	さん	し	ご	ろく	しち	はち	きゅう	ぶん	き	ひ	
市	荷	山	市	後	6	質	蜂	級	分	気	日	
きしゃ	こうこう	たいかい	たいかい	せんせい	せんせい	こうじょう	こうじょう	こうせい	はくし	しんねん	しんねん	
汽車	高校	大会	大会	先生	先生	工場	工場	公正	白紙	新年	新年	
きしゃ	こうこう	たいかい	たいかい	せんせい	せんせい	こうじょう	こうじょう	こうせい	はくし	しんねん	しんねん	
記者	孝行	退会	退会	宣誓	宣誓	向上	向上	後世	博士	信念	信念	

2) カタカナの練習

カタカナに変換する方法

■辞書にある場合

漢字と同じように、変換キーで変換してカタカナを出します。

漢字と同じように辞書に登録されているカタカナの単語は変換で出すことができます。

■辞書にない場合

辞書にない時は、ファンクションキーの「F7」、「F8」を使ってカタカナにします。
F8は、半角のカナに変換します。



「カタカナ」の「^{じっせん}実践^{れんしゅう}」練習^{おこな}を行います。

・^{じっせん}実践①

基礎	実践	成績	説明
カタカナ	①		

パソコン タイピング インド アメリカ エジプト
テレビ アルバム エネルギー マフラー スピード
ピーマン ビール プラスティック キャベツ フィルム

問題文

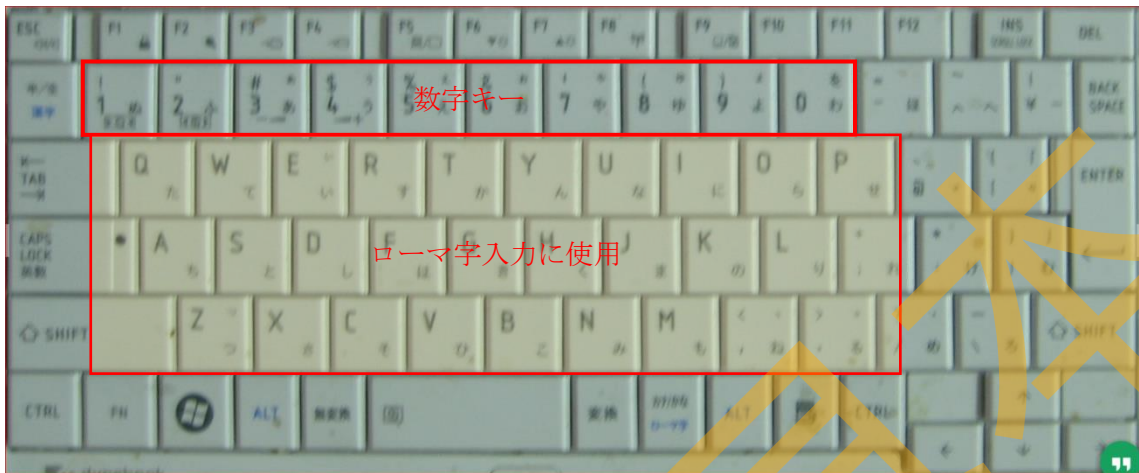
パソコン タイピング インド アメリカ エジプト
テレビ アルバム エネルギー マフラー スピード
ピーマン ビール プラスティック キャベツ フィルム

パソコン タイピング インド アメリカ エジプト と
入力します。

3) 数値の入力の練習

キーボードには、一番上の段に数字のキーがあります。

数字や数値を入力するキーですが、このキーを入力する練習はしていません。



数字キーを使わなくても数字を入れることができます。

文章の中に出てくる数字や数値は、ローマ字でも入力できます。

数値の読みを入力して数字を入力する方法です。

にがつ	変換	2月	ろくがつ	変換	6月
さんじゅうにち	変換	30日	ごねんせい	変換	5年生

このように数字の読みを入れて変換することで数字を入れることもできます。

ホームポジションから指を離さず操作を続けることができる長所があります。

ここでは、数値をローマ字で入力する練習をします。

12月 5年生 30日などは、ホームポジションから手を放さずに打てるので
どのような数字が打てるか挑戦の意味でも少し難しい数字も練習します。

すうち 「数値」の「実践」練習を行います。

じっせん
実践①

基礎	実践		
数値	①	成績	説明

にひゃくごじゅういちえん せんきゅうひゃくななじゅうにねん にかつ ろくがつさんじゅうにち ごねんせい
 2 5 1 円 1 9 7 2 年 2 月 6 月 3 0 日 5 年生
 よんじゅうごぺーじ いっぎゅう じゅうねん さんかい ろっぴゃくきゅうじゅうごにん ろくそく
 4 5 ページ 一級 10 年 3 回 6 9 5 人 6 足
 ななじゅうきゅうてん にじゅうごもじ ひゃくめーとる たいじゅうごじゅうはちまるぐらむ
 7 9 点 2 5 文字 1 0 0 メートル 体 重 5 8 k g

にひゃくごじゅういちえん
 2 5 1 円 は 「にひゃくごじゅういちえん」と入れて変換して
 2 5 1 円 を入力します。

ちゅう
注)

2 5 1 円 となっていますが、ふりがな（ルビ）のため間が空いています。
 入力の時、間を空ける必要はありません。

スペース不要

ちゅう
注)

kg は全角入力になっています。「スペース」キーを使って変換すると半角入力になってしまいます。ファンクションキーの「F7」を使って変換すると全角入力にすることができます。



4) 記号の入力の練習

キーボードには、！“#\$%& ‘() =~ ‘+* の記号のキーがありますが、ここでは、これらのキーは使いません。

文章の中で出てくる記号は、変換して出すことができます。その例を示します。

「」かっこ 変換 ⇒ 「」 【】 《》 『』 □ など沢山できます。

対で表示されるので←キーでカーソルを「」の中に入れて文字を入力すると便利です。

○ まる 変換 で ○、◎、●、①、②、③・・・などが入力できます。

× ばつ 変換 で × ÷ わる 変換 で ÷

※ こめじるし ■ しかく

読み方がわからない記号は、「きごう」で変換してください。

きごう 変換 ⇒ 記号 コ ○ ! # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ など

ずけい 変換 ⇒ 図形 ■ ☆ ★ ○ ● ◎ ◇ ◆ □ △ ▲ ▼ ▼

たんい 変換 ⇒ 単位 ° " °C ¥ \$ φ %

から (～) しめ (×) せくしょん (§) ゆうびん (〒) でんわ (☎)

なんばー (No.) ふとうごう (≦、≠、≧) かぶしきがいしゃ (株)

ゆうげんがいしゃ (有) おす (♂) めす (♀) おんぷ (♪) ふらっと (b)

なども試してください。

「記号」の「実践」練習を行います。

・実践①

基礎	実践	成績	説明
記号	①		

かっこ 【】	かっこ 『』	かっこ 〈〉	まる ◎	しかく ■	さんかく ▽	しかく ◇	たす +	かける ×	わる ÷
やじるし →	やじるし ↔	やじるし ↓	ど °C	ぼーせんど %	わっど フツ	へいほうめーどる m ²	ゆうひん 〒	かぶしきがいしゃ (株)	めっど えん @ ¥
どる \$									

5) 文の区切りの練習

文の区切り、変換、確定をすることを考えて練習してください。
 後で述べる「コンピュータも迷う」もあわせて読んでください。

コンピュータが迷わないように変換を指示します。
 にわに→変換→庭に にわには→変換→庭には

文の区切りで変換する習慣をつけます。

効率よく変換するには文節の単位で変換するようにします。

理由

- 変換の単位を正しくコンピュータに伝えることができる
- 次の入力力で確定できる。(スペース以外の文字)
- 複数文節まとめて変換し、入力に誤りがあると修正に時間がかかる。

辞書の性格を知り、文章の入力にも慣れたら自分流の変換に変えてみてください。

「文の区切り」の「実践」練習を行います。

・実践①

基礎	実践	成績	説明
文の区切り	①		

ここで履物を脱ぐ にわに 畑 があります

ここでは着物をぬぐ 庭には竹 があります

ここで はきものを脱ぐ にわには竹 があります

ひらがなを漢字にする

ひらがなを漢字に変換するとき、コンピュータは辞書を使って漢字を探します。

たとえば、ひらがなで「にわに」という文字は、コンピュータの辞書には下のようによくさんの言葉が登録されています。

1	庭に
2	丹羽に
3	二話に
4	二羽に
5	にわに
6	二把に
7	弐話に
8	弐羽に
9	弐把に

この中から入力したい文字を選ぶことになりますが、最初はコンピュータが自分の判断で文字を出してきます。ただし、コンピュータも万能ではありません、迷ったり、間違えることもあります。

本当に正しい文字は、入力している本人にしかわかりません。

コンピュータも迷う

「にわにはたけが」は2つの意味があります。

①「にわに／はたけが」 ⇒ にわ 庭に はたけ 畑が

②「にわには／たけが」 ⇒ にわ 庭には たけ 竹が

どちらが正しいでしょうか？ コンピュータも迷います。

どちらが正しいかは入力している人にしかわかりません。

そこで、コンピュータに教えてあげる必要があります。

そのために、「にわにはたけが」の文字を2つに区切ってあげます。

文の意味が分かる小さな区切を文節といいます。

この文は2つの区切り方があります。

ひらがなを漢字にするには、文節の位置で変換または確定します。

「にわに」 → 変換 → 「庭に」、 「はたけが」 → 変換 → 「畑が」 にわ はたけ 庭に 畑が

「にわには」 → 変換 → 「庭には」、 「たけが」 → 変換 → 「竹が」 にわ たけ 庭には 竹が

このように、区切りの場所を変えることで思っている文字に変換できます。

コンピュータが区切る位置を間違えた時は

コンピュータが間違えた時に、次の方法で手助けし、修正することもできます。

文節の長さを短くする

「庭に畑が」となってしまった時は、文節を長くすると修正できます。

庭に畑が 「Shift」キーを押しながら「→」を押すと文節が右に長くなる。

庭には竹が 確定させます

文節の長さを短くする

「庭には竹が」となってしまった時は、文節を短くすると修正できます。

庭には竹が 「Shift」キーを押しながら「←」を押すと文節が左に短くなる。

庭に畑が 確定させます。

変換する文節の位置を変える

習う漢字 と入力すると 習う感じ となってしまった。

習う感じ 「→」を押すと変換中の文節が右に移ります。

習う感じ 変換キーを押します。

習う漢字 確定します。

キーボード「→」「←」を使うと、変換中の文節を移動することができます。

ぶんせつ ぶん へんかん しゅうかん
文節（文のくぎり）で変換する習慣を！！

（「ごんぎつね」^{さく} 作：新美南吉^{にいみなんきち}）

「わたしがちいさいときに、むらのもへいというおじいさんからきいたおはなしです。」
まとめて入カし一度に変換するとイ) ロ) ハ) などの文に変換されます。
コンピュータの覚えている辞書によってこれ以外にも様々な文になります。

イ) 【わたしがちいさいときに、むらのもへいというおじいさんからきいたおはなしです。】

ロ) 【私がちいさいときに、むらのもへいというおじいさんからきいたおはなしです。】

ハ) 【私がちいさいときに、むらのもへいというおじいさんからきいたおはなしです。】

イ) の文にしたい時は、^いの位置で変換か確定して次の文のようにします。

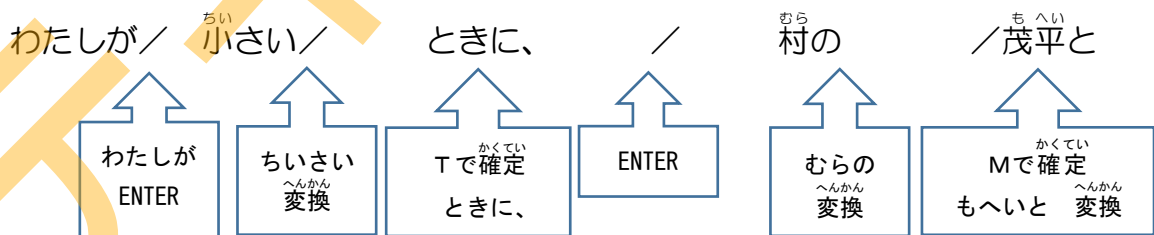
わたしが / ちいさい / ときに、 / むらの / もへいと / いう / おじいさんから / きいた / おはなし です。

こうりつ へんかん
効率よく変換するには、^{ぶんせつ たんい へんかん かくてい}文節の単位で変換や確定をします。

りゆう
理由

(1) 意味を正しくコンピュータに伝えることができる

(2) こまめに^{へんかん エンター}変換（ENTER）しても押す回数は増えません



こまめに^{へんかん つぎ にゅうりよく}変換しても次のキー入カ（スペース以外）で^{いがい かくてい}確定します。

(3) 修正は手間と時間がかかる

「わたしがちいさいときに、うらのもへいというおじいさんからきいたおはなしです。」

と入力しまとめて変換すると次のようになりました。

【わたしが小さいときに、裏の茂平というお祖父さんからきいたお話しです。】

「むらの」が「うらの」に、MU と U のちがい M を抜かしたのですが、まとめて変換すると、変換の途中の誤りを修正するには手間がかかります。

また、まとめて長く入力すれば、途中にミスが含まれる可能性も高くなります。

文節の単位で変換や確定する習慣をつけて入力の基本を身につけてください。

変換に慣れ、辞書のクセや性格をつかんでください。

自分のパソコンの辞書のクセをつかめたらまとめて変換してもかまいません。

その時も途中での入力ミスは厳禁です。ミスがあると入力した努力は水の泡です。

「連文節変換派」と「文節変換派」

日本語ワープロの開発競争が激しかった頃、日本語変換プログラムの性能の比較で、どれだけ多く文節を一気に変換できるか？ というのがありました。

その開発競争の名残でいくつもの文節をまとめて変換する「連文節変換」の方が効率がよいと考える人がいます。しかし、このテキストは、文節の単位で変換または確定する練習で基礎力を磨くことを勧めています。「文節変換派」です。

「誤入力の危険をおかして長文を入力し、手間をかけて修正するくらいなら、文節単位で変換していくほうがよい。」と考えます。

ということで、文章がどのような文節に分けることができるか練習しましょう。

(4) 変換の効率がよい

文は、文節と呼ばれるものからできています。

文節とは、自然な発音によって区切ることができる言葉の最も短い塊のことで、この文節の単位で変換すると効率よく変換できます。

「白い」と変換する時に

「しろ」と入れて変換すると 城 代 白 などができます。

「しろい」と入れて変換すると 白い だけができます。

このように文節の区切りで変換すると効率よく変換できます。

文を文節に分けるには、「ね」で区切って自然に読める所で分けられます。

ぶんせつ ぶん れんしゅう
文節（文のくぎり）の練習

こうりつ へんかん ぶんせつ べんきょう
効率よく変換するために、文節の勉強をします。

ぶん
文のくぎりに「/」をいれます。「、」や「。」があるときは、その後ろに「/」を。

れい きょう あさ
例：今日は、/朝/ごはんに/たまごと/ウィンナーを/たべました。/

もんだい
問題 ① (回答は問題のページの後にあります)

1. はじめまして、たなかです。
2. わたしは、はしります。
3. おおきなこえであいさつをしよう。
4. よるひらくはな
5. ちいさなて
6. よみかきソロバン
7. たびのラクダ
8. がっこうのこうか
9. そばうちのめいじん
10. もりでかぶとむしをみつけた。
11. ごぶんはやくついた。
12. ピアノをひく。
13. びょうにんをみる。
14. はなびにひがつく。

もんだい
問題 ②

1. ともだちとうみへいき、すいへいせんをみてきました。
2. ぶんしょうをつくるのは、けっこうむずかしいものだ。
3. ちきゅうはまるくて、たいようのまわりをまわっている。
4. このじしゃくをつかって、きょうはじっけんをします。
5. すいそうのなかには、いけでとってきたためだかがいます。
6. いえにかえったら、てをあらい、うがいをしましょう。
7. つかれていたので、いえについたらすぐねてしまった。
8. れんしゅうは、なんどもくりかえしてこそいみがある。
9. これは、まっすぐせんをひくためにつかう 도구です。
10. このさかをこえれば、あとはくだけりだけなのでらくだ。

もんだい
問題 ③

1. この空き地は何十年も前には、とても大きい工場があって私はそこでいっしょうけんめいはたらいていました。
2. 今からそちらに向かい、すぐに作業を始めるので、ひつようなものをすべて用意してまっています。
3. 世の中にはまだわからないことがたくさんあります。いずれは科学でせつめいがつくようになるのでしょうか。
4. きのは一日中雨がふっていたので、がっこうのグラウンドに水たまりがあり外で遊べないのでごんねんです。
5. キーボードをみないで文字を打てるようになれば、とてもべんりです。れんしゅうして打てるようになろう。
6. おたまじゃくしはエラがあって水の中でもいきができるが、カエルはエラがなく、水の中ではいきができない。
7. けっかが全てだと言われるが、努力した人には、努力したということのみとめてもいいのではないかと私はおもう。
8. 人がたくさん集まっている中で大きな声を出してしゃべったり、たばこをすったりするのはめいわくなのでやめましょう。

もんだい
問題 ①

1. はじめまして、／たなかです。／
2. わたしは、／はしります。／
3. おおきな／こえで／あいさつを／しよう。／
4. よる／ひらく／はな／
5. ちいさな／て／
6. よみかき／ソロバン／
7. たびの／ラクダ／
8. がっこうの／こうか
9. そばうちの／めいじん／
10. もりで／かぶとむしを／みつけた。／
11. ごぶん／はやく／ついた。／
12. ピアノを／ひく。／
13. びょうにんを／みる。／
14. はなびに／ひが／つく。／

もんだい
問題 ②

1. ともだちと／うみへ／いき、／すいへいせんを／みてきました。／
2. ぶんしょうを／つくるのは、／けっこう／むずかしいものだ。／
3. ちきゅうは／まるくて／たいようの／まわりを／まわっている。／
4. この／じしゃくを／つかって、／きょうは／じっけんを／します。／
5. すいそうの／なかには、／いけで／とってきた／めだかが／います。／
6. いえに／かえったら、／てをあらい、／うがいを／しましょう。／
7. つかれていたので、／いえに／ついたら／すぐ／ねてしまった。／
8. れんしゅうは、／なんども／くりかえしてこそ／いみがある。／
9. これは、／まっすぐ／せんを／ひくために／つかう／どうぐです。／
10. 10. この／さかを／こえれば、／あとは／くだりだけなので／らくだ。／

もんだい
問題 ③

1. この／^あ空地は／^{なんじゅうねん}何十年も／^{まえ}前には、／^{おお}とても／^{おほい}大きい／^{こうじょう}工場が／^{あって}あって／^{わたし}私は
／^{そこで}そこで／^{いっしょうけんめい}いっしょうけんめい／^{はたらいて}はたらいていました。／
2. ^{いま}今から／^{そちらに}そちらに／^むむかい、／^{すぐに}すぐに／^{さぎょう}作業を／^{はじ}始めるので、／^{ひつ}ひつような／^{ものを}ものを
／^{すべて}すべて／^{ようい}用意して／^{まって}まっています。／
3. ^よ世の中は／^{なか}なか／^{まだ}まだ／^{わから}わからないことが／^{たくさん}たくさん／^{あり}あります。／^{いず}いずれは／^{かがく}科学で／
／^{せつめい}せつめいが／^{つく}つくように／^{なる}なるのでしょうか。／
4. ^{きのう}きのうは／^{いちにちじゅう}一日中／^{あめ}雨が／^ふふっていたので、／^{がっこうの}がっこうの／^{グラウンドに}グラウンドに／^{みず}水たまりが／
／^{あり}あり／^{そと}外で／^{あそ}あそべないので／^{ざんねん}ざんねんです。／
5. キーボードを／^みみないで／^{もじ}文字を／^う打てるように／^ななれば、／^ととても／^{べんり}べんりです。
／^{れんしゅう}れんしゅうして／^う打てるように／^ななろう。／
6. おたまじゃくしは／^{エラ}エラが／^ああって／^{みず}水の中／^{なか}なかでも／^{いき}いきが／^{でき}できるが、／^{カエル}カエルは／
／^{エラ}エラがなく、／^{みず}水の中／^{なか}なかでは／^{いき}いきを／^{でき}できない。／
7. ^けけっかが／^{すべ}全てだと／^いいわれるが、／^{どりよく}努力した／^{ひと}人は／^{どりよく}努力したということ／^みみと
／^めめても／^{いい}いいのではないかと／^{わたし}私は／^{おも}おもう。／
8. ^{ひと}人が／^{たくさん}たくさん／^{あつ}集まっている／^{なか}中で／^{おほい}大きな／^{こえ}声を／^だ出して／^{しゃべ}しゃべったり、／^たた
／^{ばこ}ばこを／^すすうのは／^{めい}めいわくなので／^{やめ}やめましょう。／

13. 文章基礎練習

へんかん れんしゅう
変換の練習をしてきました。

ぶんしょうき それんしゅう こうりつ にゅうりょく れんしゅう
文章基礎練習は、効率よく入力する練習です。

■ 文章には、かならず「、」と「。」が出てきます。

まず、「、」と「。」の練習をします。

■ 文章でよくでてくる言葉があります。「その」、「いました。」など

よくでてくる言葉は、一気に打てる練習をします。

■ かなづかいの練習

とお を 「とうる」として変換すると「と売る」となります。

せんせい を 「せんせえ」として変換すると「センセ絵」となります。

にゅうりょく しゅうせい よ ただ れんしゅう
入力してから修正しないで良いように、正しいかなづかいの練習をします。

■ 変化する言葉の練習

「言う」は「言わない、言います、言うとき、言え」のように変化します。

へんか かたち れんしゅう にゅうりょく れんしゅう
変化する形の練習をしてしゃべるように入力できる練習をします。

■ 文章練習

タッチタイプの基礎練習のまとめです。

タイピングの練習で大切なことを文にしています。

1) 「、」と「。」の練習

「、」と「。」の「基礎」を練習します。

基礎	実践
「、」と「。」	⇒ ① ⇒ ②
	成績 説明

ホームポジションに指を構え、親指で「スペース」キーを押します。



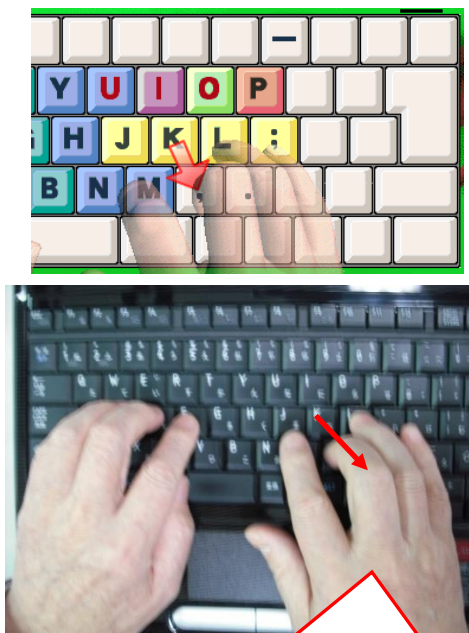
ホームポジションに指を構え

準備ができたならスペースを押します。

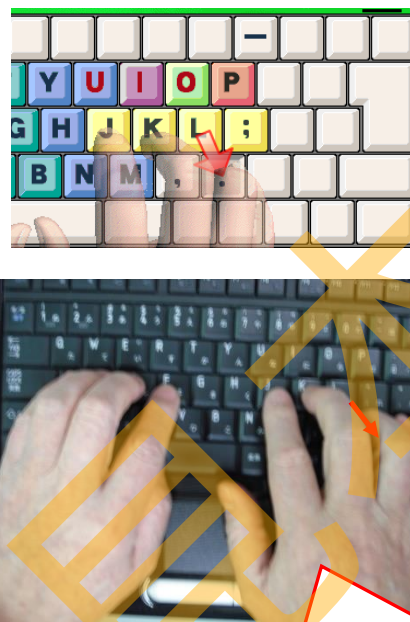
しーそーで、あそぶ。 あたらしい、のーと。
まるい、てーぶる。 すとろーで、のむ。
こーひーを、のんだ。 すーぷを、のむ。
せーたーを、きる。 かれんだーを、めくる。
すぷーんを、もつ。 ペーじを、めくる。
ろっかーに、いれる。 けーきを、もらった。
かーどを、くぼる。 ものれーるに、のった。
げーむせんたーに、いった。 ははに、はなす。

◆ 「、」 ^{みぎてなかゆび} ^{つか} ^{かた} 右手中指の使い方

◆ 「。」 ^{みぎてくすりゆび} ^{つか} ^{かた} 右手薬指の使い方



「、」は小指をホームポジションに残し
中指を右下へ引くと下に「、」がきます。



「。」は、人差指をホームポジションに残して、
薬指を右下へ折ると下に「。」がきます。

「、」と「。」の「実践」練習を行います。

・実践①

「、」と「。」 ⇒ ① ⇒ ② 成績 説明

あお そら あたら えんぴつ まる つくえ
青い、空。 新しい、鉛筆。 丸い、机。
あたたかいお茶を、飲む。 地球は、丸い。
からだ あたたか ようふく き
身体を、温める。 洋服を、着る。



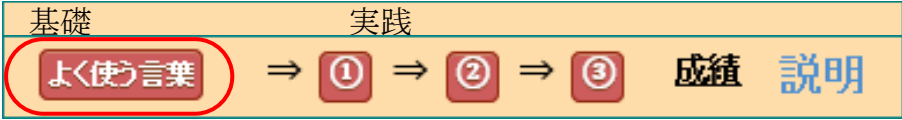
・実践②

「、」と「。」 ⇒ ① ⇒ ② 成績 説明

こよみ えんぴつ も あたら いえ
暦を、めくる。 鉛筆を持つ。 新しい、家。
はこ い はま はな ほん くほ
箱に、入れる。 母に、話す。 本を、配る。
しんかんせん の えんそく い
新幹線に、乗った。 遠足に、行った。

2) よく使う言葉 の練習

「よく使う言葉」の「基礎」を練習します。



ホームポジションに指を置き、親指で「スペース」キーを押します。



ぼくは わたしは みんなは あなたは あれは
 あれも たくさん まったく あっち こっち もっと
 ありがとう さようなら こんにちは たのしい
 うれしい うつくしい たいせつな ゆっくり はやく
 いそいで はいけい けいぐ ぜんりやく そうそう
 ありがとうございます。はじめまして。
 おげんきですか。おねがいします。
 もうしわけありません。おしらせします。
 よろしくおつたえください。おまちしています。

ひとまとまりにして入力する

よく使う言葉はひとまとまりの言葉として入力できるようになることです。

「ありがとうございます。」を「あ り が と う ご ざ い ま す 。」

ひとつひとつの音として打つのではなく、ひとまとまりの音として打つことです。

「ありがとうございます。」とまとめて打てるように練習します。

「よく使う言葉」の「実践」練習を行います。

・実践①

よく使う言葉 ⇒ ① ⇒ ② ⇒ ③ 成績 説明

です。 ます。 でした。 しました。 しましょう。

と思います。 と考えます。 と考える。 ありがとう。
 こんにちは。 いろいろ。 ようになっている。
 されている。

・実践②

よく使う言葉 ⇒ ① ⇒ ② ⇒ ③ 成績 説明

ください。 聞こえる。 考える。 楽しむ。 見る。

笑う。 眠る。 寝る。 飲む。 乗る。 楽しむ。 食べる。
 使う。 着く。 入る。

・実践③

よく使う言葉 ⇒ ① ⇒ ② ⇒ ③ 成績 説明

将来。 昭和。 日頃。 この頃。 最近。 昨年。 今年。

以前。 時間。 時代。 現代。 過去。
 ごぜん 午後。 昨日。 今日。 明日。
 午前。 午後。 昨日。 今日。 明日。

3) かなづかい の練習

かなによる言葉の書き表し方をかなづかいと言います。

滋賀県に近江大橋という橋があります。よみを間違うと大変です。

「おおみ おうはし」⇒ 大海X 桜羽しX

「おおみ おおはし」⇒ 大海X 大橋 ○

「おうみ おうはし」⇒ 近江○ 桜羽しX

「おうみ おおはし」⇒ 近江○ 大橋 ○

よみまちがうと、修正や迷いで時間を取ってしまいます。

「通る」の読み方は「とうる」？「とおる」？

「とうる」→ とうる

「とおる」→ とおる

「とうる」とすると読んで変換すると「とうる」となります。

読み方(かなづかい)をまちがうと正しく入力できません。

日本語入力の力をつけるには、正しいかなづかいの知識も大切です。

ここでは、「かなづかい」のきまりの勉強をします。

• のばす音を書き表す決まり

のばした時の音をつけ加える

「あ」のとき おかーさん。 おかー—あさん おかあさん
 「い」のとき おにーさん。 おにー—いさん おにいさん
 「う」のとき ゆーびん。 ゆー—うびん ゆうびん
 「え」のとき おねーさん。 おねー—えさん おねえさん
 「お」のとき おとーさん。 おとー—おさん

例外で「お」のときは「う」をつける おとうさん

• 「お」のとき「お」をつける

のばす音で「お」のときは「う」をつけるきまりですが、「お」をつけることばがあります。例外（例外の例外？）としておぼえましょう。

とお 通る「とおる」 おおはし 大橋「おおはし」 おお 大きい「おおきい」

とお 遠い「とおい」 おおかみ 狼「おおかみ」 おおやけ 公「おおやけ」

などがあります。

• 「ち」「つ」がにごる時

「ち」「つ」が言葉とくっついて、にごった発音になるとき「ゝ」をつける。

はな+ち ⇒ はなぢ（鼻血） ちか+つく ⇒ ちかづく（近づく）

いれ+ちえ ⇒ いれぢえ（入れ知恵）

「ぢ」を「じ」、「づ」を「ず」とまちがえると正しく変換できるとは限りません。

最近、このまちがいについてコンピュータが気を利かして変換してくれること

もありますが、正しい決まりをおぼえるようにしましょう。

「かなづかい」 の「^{きそ}基礎」を^{れんしゅう}練習します。

基礎	実践
かなづかい	⇒ ① ⇒ ②
	成績 説明

ホームポジションに^{ゆび}指を^{かま}構え、^{おやゆび}親指で「^おスペース」キーを押します。



あるきづめ おりづる ちからづよい ひづけ
わるぢえ てづくり はなぢ ちゃづけ なまづめ
みぢか そぢから てづか みかづき てつづき
かいづか みちづれ こうちょう おとうさん
がっこう ちょうし しょうぼうしゃ きょうと
いもうと とうきょう おとうと とうせん
おうさま のうか てそう きょういく たいよう
ほうがく ようい ちょうじゃ しょうがつ
おねえさん こおり ほのお おおやけ とおる
おおきい おおさか

「かなづかい」の「実践」練習を行います。

・実践①

かなづかい ⇒ ① ⇒ ② 成績 説明

い	ぢ	え	おりづる	ちからづよ	てづく	ひづけ	づか	こづつみ
入れ知恵	折鶴	力強い	手作り	日付	むだ使い	小包		
ゆうづき	ほなぢ	ばんづけ	ちゃづけ	みちか	こおり	とお	ほのお	おおやけ
夕月	鼻血	番付	茶漬け	身近	氷	通る	炎	公
おおさか	しめい	めしれい	せいめい	えいが	すいえい	せんせい	せいてん	けいき
大阪	氏名	命令	生命	映画	水泳	先生	晴天	景気

・実践②

かなづかい ⇒ ① ⇒ ② 成績 説明

そこちから	てぢか	わるぢえ	ふでづか	てつづ	みちづ	みかづき	
底力	手近	悪知恵	筆使い	手続き	道連れ	三日月	
かいづか	にわつた	おお	どけい	えいご	えいよう	こうへい	せいさ
貝塚	庭伝い	多い	時計	英語	栄養	公平	星座
げいのうじん	せいえん	めいろ	せいねん	れいせい	せい	ぜいきん	せいじ
芸能人	声援	迷路	青年	冷静	背くらべ	税金	政治

4) 変化する言葉の練習

同じ意味の言葉でも、使い方によって言葉の形が変わります。

「見る」は、次のように変化します。

「見ない」「見ます」「見る」「見るとき」「見れば」「見ろ」

(みない、みます、みる、みるとき、みれば、みろ)

変化する言葉を練習すると、喋るように指がうごく力がつきます。

言葉を思い浮かべると指が動き画面に文字が表示される。

それが上手いくと、気持ちよく感じるができると思います。

言葉の変化に指を慣らし、まるで喋るように自然に指が動くようにする練習です。

「来る」は、次のように変化します。

「来ない」「来ます」「来る」「来るとき」「来れば」「来い」

(こない、きます、くる、くるとき、くれば、こい)

「^{へんか}変化する言葉」の「^{きそ}基礎」を練習します。

基礎 実践

変化する言葉 ⇒ ① ⇒ ② 成績 説明

ホームポジションに指を構え、親指で「スペース」キーを押します。



おきない おきます おきる おきるとき おきれば おきろ
 よまない よみます よむ よむとき よめば よめ
 ださない だします だす だすとき だせば だせ
 はしらない はしります はしる はしるとき はしれば はしれ
 たべない たべます たべる たべるとき たべれば たべろ



「^{へんか}変化する言葉」の「^{じっせん}実践」練習を行います。

・ ^{じっせん}実践① 変化する言葉 ⇒ ① ⇒ ② 成績 説明

か 書かない 書きます 書く 書くとき 書けば 書け
 い 言わない 言います 言う 言うとき 言え 言え
 よ 読まない 読みます 読む 読むとき 読めば 読め

・ ^{じっせん}実践② 変化する言葉 ⇒ ① ⇒ ② 成績 説明

だ 出さない 出します 出す 出すとき 出せば 出せ
 た 立たない 立ちます 立つ 立つとき 立てば 立て
 はし 走らない 走ります 走る 走るとき 走れば 走れ

5) 文章練習

文章基礎練習の仕上げです。

練習の仕上げの文章として「基礎」と「実践」を練習用に準備しています。

「基礎」と「実践」の練習を繰り返しタイピングの土台を築いて下さい。

問題文

指は、舌と同じように、言葉を思い浮かべると自然に、動くようになります。

このステップまで進んだあなたにとって、自然に指が動く基礎はできています。

この短文には、タッチタイプの基礎が、豊富に含まれています。

スラスラサラサラと、言葉の区切りまで、一気に指が動くように、むきになって、繰り返し練習してください。

みんなが目をむいて、わっと驚くまで二十回が目標です。

よし、一気にやってやろう、がんばるぞ。

「文章練習」の「基礎」を練習します。

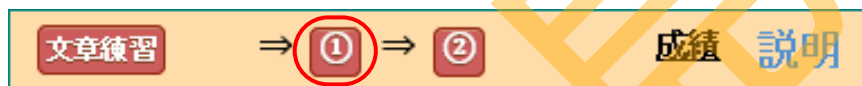
ホームポジションに指を構え、親指で「スペース」キーを押します。



ゆびは したとおなじように ことばを おもいうかべると
 しぜんに うごくようになります このすてっぷまで すすんだ
 あなたにとって しぜんにゆびがうごく きそはできています
 このたんぶんには たっちたいふのきそが ほうふに
 ふくまれています すらすらさらさらと ことばのくぎりまで
 いっきに ゆびがうごくように むきになって くりかえし
 れんしゅうしてください みんながめをむいて わっとおどろくまで
 にじゅっかいが もくひょうです よし いっきにやってやろう
 がんばるぞ

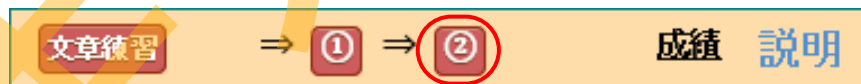
ぶんしょうれんしゅう 「文章練習」の「実践」練習を行います。

実践①



ゆび した おな ことば おも う しぜん うご
指は、舌と同じように、言葉を思い浮かべると自然に、動くようになります。
 このステップまで進んだあなたにとって、自然に指が動く基礎は出来ています。こ
 の短文には、タッチタイプの基礎が、豊富に、含まれています。

実践②



ことば くぎ いっき ゆび うご
スラスラサラサラと、言葉の区切りまで、一気に指が動くように、むきになっ
て、繰り返し練習して下さい。みんなが目をむいて、わっとおどろくまで二十回が
 目標です。よし、一気にやってやろう。がんばるぞ。

14. アルファベット練習

ここでは、ローマ字入力に使わないので後回しにしたキーを含めたアルファベットの練習をします。

練習したキーと練習していないキーを整理すると次のようになります。

ローマ字入力に使わないCQXなどは、左手の動きにくい指を使いますが、ローマ字の入力の練習で両手での文字入力に慣れてきた皆さんには、難しくないとお思います。

(1) ローマ字入力での練習したキー

ローマ字入力での練習したアルファベットは次の22字です。

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
と「ー」

アルファベット26字の内「CFJQX」の5字は、使っていません。



日本語の文章にも、NHK TV CD UFO などの日本語の一部のように使われる単語や名前、住所などを表すときにアルファベットが必要になります。

(2) ローマ字入力を使わないアルファベット

F : 人差指 (左) 、 J : 人差指 (右)

C : 中指、Q : 小指、X : 薬指は、左手の動かしにくい指を使います。

アルファベット26字を練習してから50音の練習に進む方法もありますが、QCXの練習で挫折し50音の練習まで進まない人も少なくありません。

本テキストでは両手の使い方に慣れてからQCXの練習をするので挫折しにくくなっています。



アルファベットの練習は、
右のメニューで練習します。




練習の約束

日本語の文章の中でNHK、TVなどのアルファベットを入力するための練習なので、ここでは全角のモードで練習します。

(全角のモードとはMS-IMEが「あ」となっているモードです、「A」「A」のモードではありません)

ただし、半角のアルファベットを入力する場合は日本語ではありませんので「日本語入力システム」をオフにしてキーを入力します。

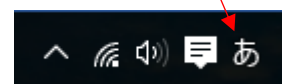
(注)

日本語入力システムの切り替えは、キーボードの左上にある  キーを押します。

日本語入力システムのオン・オフの状態は画面右下のタスクバー内の MS-IME を見て判断します。

オンの場合 あ

オフの場合 A



文字について

文字の大きさ (フォントサイズ)

「おたんじょうかい」のおしらせ

のように、文字には小さなものから大きなものまで多くの種類を選ぶことができます。

文字の大きさのことをフォントサイズ (下の図: 左) といいます。

文字の種類

文字の形には、「子どもパソコン教室」「子どもパソコン教室」「**子どもパソコン教室**」のように、いろいろな形があります。文字の形のことをフォントといいます。(下の図: 右)


文字の大きさ (フォントサイズ)

フォントサイズ	文字の大きさ
8	あ
10	あ
12	あ
14	あ
18	あ
20	あ
24	あ
36	あ
48	あ

文字の形の種類 (フォント)

フォント(文字の種類)	文字の見本
MS明朝	子どもパソコン教室
MSゴシック	子どもパソコン教室
HGPゴシックE	子どもパソコン教室
HGP創英角ポップ体	子どもパソコン教室
HGP創英角ゴシックUB	子どもパソコン教室
HGP明朝E	子どもパソコン教室
HG丸ゴシックM-PRO	子どもパソコン教室
HGP行書体	子どもパソコン教室
AR丸ゴシック体M	子どもパソコン教室

「全角」と「半角」

文字の形は、小さな点を集めて作ります。例：E を拡大すると 

漢字の種類は、新聞・雑誌などで使う漢字を常用漢字といい約2000字あります。

古くからの漢字を含めると漢字の種類は何万種類にもなります。

漢字は優、鬱、などアルファベットに比べ複雑なものが多いので、アルファベットの倍の大きさを使います。

アルファベットの大きさを「半角」、漢字の大きさを「全角」と呼びます。

- ・フォントサイズ36の「a」

a

アルファベットと数字・記号でよいので、これだけの幅で表現できます。

- ・フォントサイズ36の「優」

優

漢字は何千種類の文字があるので、アルファベットの倍の幅を使います。

優

この大きさを「全角」 a この大きさを「半角」と言います。

がっこう えいご スクール

学校は英語でschoolと言います。 (school : 半角)

えいご エヌエイチケー ベンきょう

英語をNHKで勉強します。 (NHK : 全角)

日本語の中で英字は、半角、全角どちらも使うことができます。

プログラミングは、英語の命令を半角で入力します。(直接入力ともいう)

プログラミングの勉強は、1年目はマウスで、2年目は英語を入力して命令します。

1年目のキーボードの練習で、文字を入力する力をつけてください。

2年目のプログラミングの練習で、英語での命令を入力できるようになります。

ここでは、次の3つのメニューで練習します。

1) 「アルファベット」の練習

アルファベット26字、と「,」「.」「;」の練習をします。

アルファベットの大文字と、小文字の練習もします。

ABCDEF G	HIJKLMN	OPQRSTU	VWXYZ-, . ;
ABCDEF G	HIJKLMN	OPQRSTU	VWXYZ-, . ;
abcde f g	hijklmn	opqrstu	vwxyz-, . ;
abcde f g	hijklmn	opqrstu	vwxyz-, . ;

2) 「英単語」(英略語、英単語など)の練習

NHK、NTT、CDなどの英略語、

box、cat、dogなどの英単語を練習します。

NHK	NTT	CD	TV	IT	PC	UFO	VIP	USA
YEN	AND	ON	OFF	OUT	ABC	TOP		
box	cat	dog	cup	cap	tea	bus	ice	

3) 「英単語」(地名、名前など)の練習

富士山 (Hujisan)、広島 (Hiroshima) などの地名などの練習

Tarou (太郎)、Haruka (遥)、などの名前などの練習

Huzisan	Hiroshima	Tokyo	Matumoto	Kyoto	
Nara					
Nippon	Hokkaido	Kyusyu	Tohoku	Sikoku	
Tarou	Haruka	Nao	Yumi	Kazuki	Daisuke

1) アルファベットの練習

「アルファベット」の「基礎」を練習します。

基礎	実践
アルファベット	⇒ ① 成績 説明

ホームポジションに指を構え、親指で「スペース」キーを押します。



ホームポジションに指を構え

準備ができたならスペースを押します。



ABCDEFGH	HIJKLMN	OPQRSTU	VWXYZ-,.;
ABCDEFGH	HIJKLMN	OPQRSTU	VWXYZ-,.;
Abcdefg	hijklmn	opqrstu	vwxyz-,.;
Abcdefg	hijklmn	opqrstu	vwxyz-,.;

ぜんかく 全角モードでアルファベットを入力すると！

「ABCDEFFG」と日本語入力モード（「あ」の状態）で入力すると「あbcでf_g」となります。この状態では変換（スペースで）することで「ABCDEFFG」と入力することができます。

「HIJKLMN」は入力し「ひjklmn」ここで変換し入力できます。

「VWXYZー、。；」は「VWXYZ」と「ー、。；」をわけて入力します。

変換キー（スペース）を押しても候補が表示されない時は



ファンクションキー「F9」を使います。「F9」はアルファベットへ変換するキーです。

注）文節（文のくぎり）が2つ以上に別れた時。

「HIJKLMN」と入力し、変換すると「ひjkl」と「mn」に2つの文節に別れて表示されることがあります。

わかれた文節を1つの文節にするには「SHIFT」キーを押しながら「→」キーを押すと文のくぎり1字ずつ右へ広がります。

「HIJKLMN」までをひとまとまりにして「F9」で変換します。

「アルファベット」の「実践」練習を行います。

・実践①	アルファベット	⇒	①	成績	説明
------	---------	---	---	----	----

ABCDEF	FG	HIJKLM	N	OPQRST	U	VWXYZー、。；
ABCDEF	FG	HIJKLM	N	OPQRST	U	VWXYZー、。；
abcde	fg	hijkl	mn	opqrs	t	vwxyzー、。；
abcde	fg	hijkl	mn	opqrs	t	vwxyzー、。；

2) 英単語の練習 (1)

「英単語」の「基礎」を練習します。

基礎		実践		
英単語	⇒	①	成績	説明
英単語	⇒	②	成績	説明



ホームポジションに指を構え、親指で「スペース」キーを押します。



TEA BUS CAP CAT CUP TOP UFO
 VIP ZOO YEN AND OFF USA JOY
 ABC BMW BOX FAX FM ICE OLD
 ONE OUT PET RED

NHK NTT CD TV IT ...

box cat dog ...などは、^{へんかん}変換^だで出すことができます。

んhk スペース (^{へんかん}変換) で NHK

んtt スペース (^{へんかん}変換) で NTT

cd スペース (^{へんかん}変換) で CD

TV スペース (^{へんかん}変換) で TV

いえn スペース (^{へんかん}変換) で YEN

あんd スペース (^{へんかん}変換) で

^{あん}案d 「+→で あんd スペース (^{へんかん}変換) で AND

おn スペース (^{へんかん}変換) で ON

ぼx スペース (^{へんかん}変換) で box

かt スペース (^{へんかん}変換) で cat

どg スペース (^{へんかん}変換) で dog

NHK NTT CD TV IT PC UFO VIP USA
 YEN AND ON OFF OUT ABC TOP
 box cat dog cup cap tea bus ice

「^{えいたんご}英単語」の「^{じっせん}実践」^{れんしゅう}練習^{おこな}を行います。

じっせん
・実践①

英単語	⇒	①	成績	説明
英単語	⇒	②	成績	説明

NHK NTT CD TV IT PC UFO VIP USA
 YEN AND ON OFF OUT ABC TOP
 box cat dog cup cap tea bus ice

3) 英単語の練習 (2)

「英単語」の「基礎」を練習します。

基礎		実践		
英単語	⇒	①	成績	説明
英単語	⇒	②	成績	説明



ホームポジションに指を構え、親指で「スペース」キーを押します。



BLACK PAPER SPOON TITLE HANDY ASAHI
 NAGOYA HAPPY SPORT HOTEL VIDEO BREAD
 WARER RADIO MOTOR MOVIE RINSE BUTTER
 TISSUE ORANGE MARKET SCHOOL TOBACCO
 PENSION PRINTER SHAMPOO PRESENT
 MACHINE SAUSAGE INTERNATIONAL

H i r o s i m a 、 T o k y o 、 M a t u m o t o

など「スペース」キーの変換^{へんかん}で出てくるもの「F9」キーの変換^{へんかん}で出てくるものなど、ソフトによって異^{こと}なります。

「スペース」キーや「F9」キーによる変換^{へんかん}など試^{ため}しながら入^{にゅうりよく}力^{りき}してください。

文^{ぶん}の区切り^{くぎ}が、2つ以上^{いじょう}に別^{わか}れる時^{とき}は、

「SHIFT」キーを押^おしながら「→」キーで1字^じずつ右^{みぎ}へ文^{ぶん}の区切り^{くぎ}をひろげてください。

「→」を押^おしすぎて字^じ数^{すう}が増^ふえすぎた時^{とき}は、

「SHIFT」キーを押^おしながら「←」キーで1字^じずつ減^へらしてください。

「英単語」の「実践」練習^{れんしゅう}を行います。

・実践^{じっせん}②

英単語	⇒	①	成績	説明
英単語	⇒	②	成績	説明

Huzisan Hiroshima Tokyo Matumoto Kyoto
Nara
Nippon Hokkaido Kyusyu Tohoku Sikoku
Tarou Haruka Nao Yumi Kazuki Daisuke

毛筆今下見本

15. 日本語入力の基礎資料

このテキストがあれば、子ども達に「正しい指づかいを守って」ローマ字入力を身につけさせることができます。しかし、教えるためには、「なぜ？」との質問には、答える準備が必要です。

掛け算、 $3 \times 7 = 21$ を教える時、「 3×7 は 21 になる」と分かる人なら良いが、「 \times (かける) とは?」「数字って何?」などと質問された時、適切に答えるには、教えようとする事についての基礎を深く知っている必要があります。

本メソッドで教えるに当たって基礎になる資料を掲載します。

この章では、このメソッドの成り立ちなど、このメソッドの考えについて解説します。

(1) 「はかせ式タッチタイプ」メソッド

この練習方法の考えや練習で守ることについて

(2) ホームポジションに指を戻すのは「いつ?」

「必ずホームポジションに戻す」の例外は?

(3) ローマ字の表記

(4) sh i は s i、ch i は t i で練習する理由

(5) なぜホームポジションの F や J を使わないのか?

(6) 外来語の表記

(7) 五十音図と音韻体系

(1) 「はかせ式タッチタイプ」メソッド

- ゆっくりやれば速くなるキー入力練習
- 手首を支えて操作する
- ローマ字入力に必要なキー22で練習
- 指を動かすパターンは5つ

ホームポジション、人差し指、中指、薬指、小指

- 指の型は、18
- ローマ字の表を10のステップで練習

馴れがこない、練習者に挑戦

- 手本の練習に続けて実践の練習を

アルファベット、数字、記号、漢字、ひらがな、カナを使う日本語の入力を効率良く練習できる「はかせ式タッチタイプ」の考え

第一の着眼点：

ローマ字入力ができるようになってから、「CFJQX」を練習する。特に、QCXは、左手の小指、中指、薬指で動かしにくい指なので練習を後回しにすることで楽に進めることができます。

アルファベット26字から5字を引いて21字に「一」を加え22字を練習します。

22字はホームポジション、人差し指、中指、薬指、小指 の5パターンに整理できます。

ホームポジションでその位置で押すことのできるキー ASDKL

人差し指 左の人差し指 RTGBV 右の人差し指 UYHNM

中指 左の中指 E 右の中指 I

薬指 左の薬指 W 右の薬指 O

小指 左の小指 Z 右の小指 P のびる音「一」

第二の着眼点：

手首は、支えて練習する。

押す指、残す指を決めると文字ごとに指の方が

指の型は18 型が定まると型の練習回数が飛躍的に多くなる

タイピング練習は、工夫により合理的な練習となる。

無駄な練習を少なくすることができます。

(2) ホームポジションに指を戻すのは「いつ？」

キーを押したら指をホームポジションに戻します。では「ゆ」はどうでしょう？
人差し指で Y を押し Y の隣に U があるのにホームポジションに戻す？

Y を押して、一度、ホームポジションへ戻って、同じ指をもう一度、Y のとなりの U へ動かして押すのは、無駄に思えます。

その通りです。「ゆ」では、Y を押し続けて U を押すのが効率的です。

しかし、練習を初めて慣れるまでは、一旦ホームポジションへ戻すと考えて練習して下さい。

「書き方」も同じで、楷書で丁寧に書いていても、慣れたら自然に速く書けるようになります。

ホームポジションへ戻すのは、それと同じ基本です。馴れたら続けて押す方が効率が良い音があります。その場合は、次のように続けて押します。

人差し指で Y → U と押し U を押した後に人差し指をホームポジションに戻します。その動きを下図に示します。



このように続けて押すと効率の良い音に次ページの表の音があります。よく見ると法則があります。人差し指を使って押す音の場合です。

ホームポジションへ必ず戻す原則は正しいのですが1つの音を押し、終わったら必ずホームポジションへ戻しておくことと言うと正確です。

この練習では、1つの音を入力する指の動きは続けてガイドします。

表の ○ 印の音が該当

- ぬ N→U
- ふ H→U
- む M→U
- ゆ Y→U
- きゅ K→Y→U
- しゅ S→Y→U
- ちゅ T→Y→U
- にゅ N→Y→U
- ひゅ H→Y→U
- みゅ M→Y→U
- りゅ R→Y→U
- ぎゅ G→Y→U
- じゅ Z→Y→U
- ぢゅ D→Y→U
- びゅ B→Y→U
- ぴゅ P→Y→U
- ゅ L→Y→U

③	あ	い	う	え	お	や	ゆ	よ
④	か	ぎ	く	け	こ	きゃ	きゅ	きよ
	かさ	し	す	せ	そ	しゃ	しゅ	しよ
	た	ち	つ	て	と	ちゃ	ちゅ	ちよ
	な	に	ぬ	ね	の	にゃ	にゅ	によ
⑤	は	ひ	ぶ	へ	ほ	ひゃ	ひゅ	ひよ
	ま	み	む	め	も	みゃ	みゅ	みよ
	ら	り	る	れ	ろ	りゃ	りゅ	りよ
	わ			を				
⑥	が	ぎ	ぐ	げ	ご	ぎゃ	ぎゅ	ぎよ
	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ	じゃ	じゅ	じよ
	だ	ぢ	づ	で	ど	ぢゃ	ぢゅ	ぢよ
	ば	び	ぶ	べ	ぼ	びゃ	びゅ	びよ
⑦	ぼ	ひ	ぶ	べ	ぼ	びゃ	びゅ	びよ
	ゅあ	ゅい	ゅ	ゅえ	ゅお		ゅ	ゅよ

○ の音は人差し指を続けて使って入力します。赤字の部分。

赤字は続けて押してからホームポジションに戻し、次の音の入力の準備をする。
これが指を戻すタイミングです。

「1つの音を打ち終わったらホームポジションに戻す」

(3) ローマ字の表記

ローマ字入力の練習を効率よく行うには、ローマ字の表を決める必要があります。
ローマ字の表について調べました。

出典：「ことばの表記の教科書」佐竹秀雄+佐竹久仁子著 ベレ出版

日本語をローマ字で表す方法には大別して二通りあります。

一つは、日本語の音韻規則に従って、
五十音図の同じ行には同じ子音字を当てようとするもの。

「日本式」、「訓令式」

もう一つは、子音字を英語式にするもの。「ヘボン式」

訓令式の例：小学校の教科書

大阪書院 四年生国語より

	A	I	U	E	O			
	a	i	u	e	o			
	あ	い	う	え	お			
K	ka	ki	ku	ke	ko	kya	kyu	kyo
	か	き	く	け	こ	きゃ	きゅ	きょ
S	sa	si	su	se	so	sha	shu	sho
	さ	し	す	せ	そ	しゃ	しゅ	しょ
T	ta	ti	tu	te	to	tya	tyu	tyo
	た	ち	つ	て	と	ちゃ	ちゅ	ちょ
N	na	ni	nu	ne	no	nya	nyu	nyo
	な	に	ぬ	ね	の	にゃ	にゅ	にょ
H	ha	hi	hu	he	ho	hya	hyu	hyo
	は	ひ	ふ	へ	ほ	ひゃ	ひゅ	ひょ
M	ma	mi	mu	me	mo	mya	myu	myo
	ま	み	む	め	も	みゃ	みゅ	みょ
Y	ya	(i)	yu	(e)	yo			
	や	(い)	ゆ	(え)	よ			
R	ra	ri	ru	re	ro	rya	ryu	ryo
	ら	り	る	れ	ろ	りゃ	りゅ	りょ
W	wa	(i)	(u)	(e)	(o)			
	わ	(い)	(う)	(え)	(を)			
	n							
	ん							
G	ga	gi	gu	ge	go	gya	gyu	gyo
	が	ぎ	ぐ	げ	ご	ぎゃ	ぎゅ	ぎょ
Z	za	zi	zu	ze	zo	zya	zyu	zyo
	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ	じゃ	じゅ	じょ
D	da	(zi)	(zu)	de	do	(zya)	(zyu)	(zyo)
	だ	ぢ	づ	で	ど	ぢゃ	ぢゅ	ぢょ
B	ba	bi	bu	be	bo	bya	byu	byo
	ば	び	ぶ	べ	ぼ	びゃ	びゅ	びょ
P	pa	pi	pu	pe	po	pya	pyu	pyo
	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ	ぴゃ	ぴゅ	ぴょ

訓令式を基準に、ヘボン式を[]、日本式を< >で表現した表が次の表です。

「ことばの表記の教科書」

<ローマ字入力するに当たって>

英語式の表現を重視すると

サ行で shi

タ行で chi tsu

の区別が必要です。

打ちやすさを重視すると

「ふ」を fu、「ふぁ」を fa

「じ」を ji、「じゃ」を ja

の区別が必要です。

ア行	a	i	u	e	o			
カ行	ka	ki	ku	ke	ko	kya	kyu	kyo
サ行	sa	si	su	se	so	sha	shu	sho
		[shi]				[sha]	[shu]	[sho]
タ行	ta	ti	tu	te	to	tya	tyu	tyo
		[chi]	[tsu]			[cha]	[chu]	[cho]
		[ci]	[cu]			[cya]	[cyu]	[cyo]
ナ行	na	ni	nu	ne	no	nya	nyu	nyo
ハ行	ha	hi	hu	he	ho	hya	hyu	hyo
		[fu]						
マ行	ma	mi	mu	me	mo	mya	myu	myo
ヤ行	ya	yu	yo					
ラ行	ra	ri	ru	re	ro	rya	ryu	ryo
ワ行	wa				<wo>			
ン	n	[n]						
ガ行	ga	gi	gu	ge	go	gya	gyu	gyo
ザ行	za	zi	zu	ze	zo	zya	zyu	zyo
		[ji]				[ja]	[ju]	[jo]
ダ行	da			de	do			
		<di>	<du>			<dya>	<dyu>	<dyo>
バ行	ba	bi	bu	be	bo	bya	byu	byo
パ行	pa	pi	pu	pe	po	pya	pyu	pyo

(4) shiはsi、chiはtiで練習する理由

「し」は、Shi か Si か？

「ち」は、Chi か Ti か？

「つ」は、Tsu か Tu か？

サ行	sa	si	su	se	so
		[shi]			
タ行	ta	ti	tu	te	to
		[chi]	[tsu]		

英語式の表現を重視すると「し」は「shi」、「ち」は「chi」、「つ」は「tsu」となりますが、Sと母音、Tと母音という分かり易さ、練習のし易さを大切にします。

タッチタイプの練習は、小学生から練習できることを前提にしているので、ローマ字の表は、学校で利用している訓令式に合わせました。

では、英語を学んだ中学生ならヘボン式のほうが良いのでしょうか。やはり訓令式の方が覚えやすいので同じローマ字の表を用いて練習します。

音をアルファベットの組合せで入力する方法と割り切りって練習します。

(5) なぜホームポジションにあるFやJを使わない？

手元を見ずに入力する練習には、不自然な所があると、練習が難しくなります。
ha hi hu he ho の練習は h と a i u e o の組み合わせ
なら、自然です。

ha hi fu he ho の練習は
「は ひ へ ほ」は h と a i e o で 「ふ」は f と uの組み合わせ
と説明も難しいです。

同じように、じ と じゃ じゅ じょ も z を使います。

しかし、「f」と「j」は、下の図に有るようにホームポジションの左の人差し指、
右の人差し指と一番押しやすいところにあります。最初は、分かり易さが大切ですが、
ローマ字になれ、文章をスラスラと入力できるようになり、fとjを使うように変える
興味を持たれたら、効率の良いF Jを使う方法に変える練習して下さい。

ふ：HU を FU に じ：ZI を JI に
じゃ、じゅ、じょ：ZYA、ZYU、ZYO を JA, JU, JO に

ハ行	ha	hi	hu	he	ho
			[fu]		

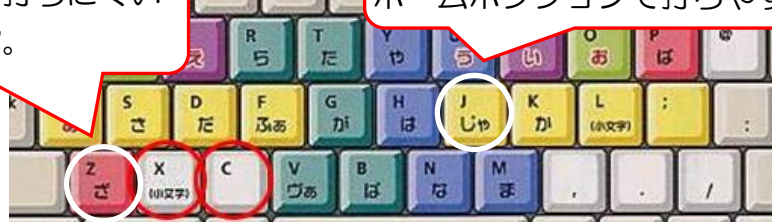
Fは、左手の人差し指。
ホームポジションで打ちやすい。



ザ行	za	zi	zu	ze	zo	zya	zyu	zyo
		[ji]				[ja]	[ju]	[jo]

Zは、左手の小指。打ちにくい
場所で動かし難い指。

Jは、右手の人差し指。
ホームポジションで打ちやすい。



(6) 外来語の表記

ローマ字入力を難しく感じさせる原因に、学校で習うローマ字の表に載っていない音をおぼえるのが難しいということがあります。

外来語の音に、どのようなものがあるか調べました。

下の表を見て下さい。

約33字程度あります。

出典：「ことばの表記の教科書」佐竹秀雄＋佐竹久仁子著 ベレ出版

現在の表記は1991年に出された内閣告示の『外来語の表記』で、これには外来語のほか外国の地名・人名の表記についても触れられている。(13字)

ツア		シエ	
	テイ	チエ	
	ファイ	ツエ	ツォ
ファ		フェ	フォ
	ダイ	ジェ	
		デュ	

右上の表は外来語特有の13種類の仮名です。訓令式のローマ字表に無い音とほぼ一致しています。

右下の表は外来語や外国語の地名・人名などを原音や原つづりになるべく近く書き表そうとする場合に用いるものです。(20字)

例：

ウ゚スキー ウ゚ディング ヴァイオリン

			イエ	
	ウ゚		ウ゚エ	ウ゚ォ
ク゚ア	ク゚イ		ク゚エ	ク゚ォ
	ツ゚イ			
		トゥ		
グ゚ア				
		ドゥ		
ヴ゚ア	ヴ゚イ	ヴ	ヴ゚エ	ヴ゚ォ
		テュ		
		フュ		
		ヴュ		

上の表で13字、下の表で20字。日本語の文章上で出てくる外来語の表記に使われる仮名は33字程度あると言えます。

「ヴ」の音は、訓令式、日本式、ヘボン式のどの表にも無いのでローマ字の表に、追加する必要があります。

ツァ、クォ・・・など33字を t s a、q o、・・・と33近く覚えるのでは、タッチタイプは、できそうにありません。1つの音として覚えるのは難しいのでツァは「ツ」と「ァ」、クォは「ク」と「ォ」と2つの音として考えると覚えやすくなります。

小さな「あ」「い」「う」「え」「お」はLとA、I、U、E、O を組み合わせて作ります。LAで「あ」、LIで「い」、LUで「う」、LEで「え」、LOで「お」のようにします。

うえでいんぐ : ULEDELI NNGU 覚えるのは、「L」を使うことです。

こうすれば、ローマ字の表は、赤枠で括った一行で表現できます。

約33ある音をシンプルに表現できます。

また、Lはホームポジションにあるので打ちやすいので便利です。

①		あ	い	う	え	お	や	ゆ	よ	
		1:A	2:I	3:U	4:E	5:O	6:Y			
②	7: K	か KA	き KI	く KU	け KE	こ KO	きゃ KYA	きゅ KYU	きょ KYO	
	8: S	さ SA	し SI	す SU	せ SE	そ SO	しゃ SYA	しゅ SYU	しょ SYO	
	9: T	た TA	ち TI	つ TU	て TE	と TO	ちゃ TYA	ちゅ TYU	ちよ TYO	
	10: N	な NA	に NI	ぬ NU	ね NE	の NO	にゃ NYA	にゅ NYU	にょ NYO	ん NN
③	11: H	は HA	ひ HI	ふ HU	へ HE	ほ HO	ひゃ HYA	ひゅ HYU	ひょ HYO	
	12: M	ま MA	み MI	む MU	め ME	も MO	みゃ MYA	みゅ MYU	みょ MYO	
	13: R	ら RA	り RI	る RU	れ RE	ろ RO	りゃ RYA	りゅ RYU	りょ RYO	
	14: W	わ WA					を WO			
④	15: G	が GA	ぎ GI	ぐ GU	げ GE	ご GO	ぎゃ GYA	ぎゅ GYU	ぎょ GYO	
	16: Z	ざ ZA	じ ZI	ず ZU	ぜ ZE	ぞ ZO	じゃ ZYA	じゅ ZYU	じょ ZYO	
	17: D	だ DA	ぢ DI	づ DU	で DE	ど DO	ぢゃ DYA	ぢゅ DYU	ぢょ DYO	
	18: B	ば BA	び BI	ぶ BU	べ BE	ぼ BO	びゃ BYA	びゅ BYU	びょ BYO	
⑤	19: P	ぱ PA	ぴ PI	ぷ PU	ぺ PE	ぽ PO	ぴゃ PYA	ぴゅ PYU	ぴょ PYO	
⑥	20: V	ヴぁ VA	ヴぃ VI	ヴぅ VU	ヴぇ VE	ヴぉ VO				
⑦	21: L	あ LA	い LI	う LU	え LE	お LO	ゃ LYA	ゅ LYU	ょ LYO	
⑧	子音を重ねる	つまる音								
⑨	子音を重ねる	つまってねじれる音								
⑩	22: -	のびる音								

(7) 五十音図と音韻体系

日本語（和語、漢語、外来語）をもれなく表現でき、操作し易く練習しやすいローマ字の表を作るため『ローマ字表記法』や『外来語の表記』と共に五十音図や音韻体系を調べました。

日本語として必要な音をローマ字表が満たしているかを確認するためです。

現在使われている音は、充分満たしていると確認ができました。

そう考える根拠を示し、また、興味深い内容のモノを紹介します。

【五十音図】

出典：日本語のしくみ 山田敏弘著 白水社

アカサタナハマ（ヤラワ）の順は、口の中で閉じたり狭めを作ったりする位置の順番です。

五十音図の基本は、室町時代頃に仏教の経典とともにインドから中国を経て日本に伝わったと考えられ「アカサタナハマ（ヤラワ）」は室町時代の音を反映した順になっています。

母音であるア行音は口を開いたまま発音します。

カ行はのどの奥の音、サ行、タ行、ナ行 は舌先と歯茎の音、ハ行をとばしてマ行は唇の音です。つまり喉の奥から唇へという順番になっているのです。

【音韻体系】

出典：フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

日本語話者は、「いっぼん（一本）」という語を「い・っ・ぼ・ん」の4単位と捉えている。このような単位をモーラ（拍）と称している。

日本語のモーラは、大体は仮名に即して体系化することができる。また、「っ」と「ん」もそれぞれ一つのモーラとして捉える。

日本語のモーラは以下に示すように103程度となる。

この表と外来語の表記のための「ヴ」小さな「あいうえお」を加えると日本語の表現に必要な音を網羅した「ローマ字の表」を作ることができます。

母音	あ	い	う	え	お				(清音)
	直音					拗音			
半子音 +母音	か	き	く	け	こ	きゃ	きゅ	きょ	(清音)
	さ	し	す	せ	そ	しゃ	しゅ	しょ	(清音)
	た	ち	つ	て	と	ちゃ	ちゅ	ちよ	(清音)
	な	に	ぬ	ね	の	にゃ	にゅ	にょ	(清音)
	は	ひ	ふ	へ	ほ	ひゃ	ひゅ	ひょ	(清音)
	ま	み	む	め	も	みゃ	みゅ	みょ	(清音)
	ら	り	る	れ	ろ	りゃ	りゅ	りょ	(清音)
	が	ぎ	ぐ	げ	ご	ぎゃ	ぎゅ	ぎょ	(濁音)
	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ	じゃ	じゅ	じょ	(濁音)
	だ	ぢ	づ	で	ど				(濁音)
	ば	び	ぶ	べ	ぼ	びゃ	びゅ	びょ	(濁音)
	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ	ぴゃ	ぴゅ	ぴょ	(半濁音)
		直音							
	や		ゆ		よ				(清音)
	わ				を				(清音)
	特殊モーラ								
	ん								(撥音)
	っ								(促音)
	ー								(長音)

タッチタイプ入門

2017年10月1日 初版

本書の複写複製(コピー)は、特定の場合を除き、著作権者の権利侵害になります。

連絡先

株日本ビーコム

☎520-0802

滋賀県大津市馬場3-2-25 ワカヤマビル 2F

Tel 077-527-5681 Fax 077-527-5687



- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。
- テキストに記載されている内容、仕様は予告なしに変更されることがあります。